

特別支援教育における
「個別の指導計画」作成のために

－ 記 入 例 －

平成 2 2 年 3 月

山 口 県 教 育 委 員 会

「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のために一記入例一」について

「個別の指導計画」とは

「個別の指導計画」とは、障害のある幼児児童生徒一人ひとりに作成する、各教科等の目標や内容、配慮事項などを具体的に示した計画です。

「個別の指導計画」を作成することで、教職員の共通理解による指導や支援の実践と客観的な評価、改善につながります。

本冊子の活用に当たって

「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のために」（山口県教育委員会、平成21年12月）を併せて参考にしてください。

①「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のために」

「個別の指導計画」の	基本的な考え方	作成のための配慮事項
	項目と様式	記入上の留意点



②「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のために一記入例一」(本冊子)

幼稚園	小学校	中学校	高等学校	の記入例
特別支援学級	通級による指導	特別支援学校		

①と②を併せて参考にして、障害のある幼児児童生徒の実態や各学校の実情に合わせた計画を必要に応じて作成します。



「個別の指導計画」の作成に当たって

- すべての欄に記入する必要はありません。
- 学級担任の負担が大きくなり過ぎないように留意する必要があります。
- 進級や進学、転学先に適切な指導を確実に引き継ぐことが大切です。

「個別の指導計画」を作成することが目的ではなく、幼児児童生徒の障害の状態等に応じた適切な指導を、計画的、組織的に行うために作成します。

「個別の指導計画」の作成と活用により、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を一層充実させることが大切です。



- 「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のために」
 - 「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のために一記入例一」(本冊子)
 - 「『個別の指導計画』の様式」
- は、特別支援教育推進室のホームページからダウンロードできます。
(<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/Planning-guidanc/planning-guidanc.html>)

「特別支援教育における『個別の指導計画』作成のためにー記入例ー」

目 次

◇幼稚園

記入例 1	幼稚園	<年少>	ページ 1
記入例 2	幼稚園	<年中>	5
記入例 3	幼稚園	<年長>	9

◇小・中学校（通常の学級）

記入例 4	小学校	<4年>	13
記入例 5	中学校	<1年>	17

◇高等学校

記入例 6	高等学校	<1年>	21
-------	------	------	----

◇通級による指導

記入例 7	小学校	<2年>	25
記入例 8	小学校	<3年>	31
記入例 9	小学校	<4年>	35

◇特別支援学級

記入例10	小学校	<2年>	41
記入例11	小学校	<5年>	47
記入例12	中学校	<3年>	53

◇特別支援学校

記入例13	総合支援学校	<高等部1年>	59
記入例14	総合支援学校	<高等部1年>	63
記入例15	総合支援学校	<中学部1年>	67
記入例16	総合支援学校	<小学部1年>	71

◇参考

<参考①>	「個別の指導計画」作成のメリットと活用の流れ	30
<参考②>	実態把握のポイント	40
<参考③>	目標設定のポイント	46
<参考④>	指導内容・方法の設定	52
<参考⑤>	「個別の指導計画」の活用～「個別の指導計画」に基づいた授業～	58

「個別の指導計画」記入例 1

- ◆「自分の気持ちや思いを表現することが苦手で、集団への参加が難しい」幼稚園年少児の記入例です。
- ◆様式1は、幼稚園教育要領に示されている領域について記入しています。
- ◆様式2は、園の日課の中で主に支援する教職員を記入しています。
- ◆様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、主に支援する教職員を記入しています。

学年・組	年少・〇〇組	園長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

個別の教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①自分の気持ちや思いを周囲の人に伝えることができる。 ②集団での遊びや行事に楽しく参加することができる。	個別の教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①自分の気持ちや思いを教員に言葉で表現することができる。 ②園の行事に見通しをもって参加することができる。
------------------------------	---	------------------------------	--

領域等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標
健康 人間関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱には援助を要する。 食事にはスプーンを使うが、箸にも興味をもち始めている。 教員に告げて、一人でトイレに行くが、トイレの後の手洗いには確認を要する。 登園時に周囲のことが気になってしまい、声をかけても片付けに注意を向けることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことができるだけ自分でできる。
	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの場面で、友達に声をかけられるとうれしそうにする様子が見られる。 自分から友達を遊びに誘う場面は、まだ見られない。 母親や教員など、好きな人に対して思いやりのある行動を見せることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と遊ぶことを楽しむことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 行事やいつもと異なる活動に対しては、不安や緊張が強い。 教員がクラス全体に話をしている間、静かにしていることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園の行事に楽しく参加する。
	<ul style="list-style-type: none"> 一つのことが気になり始めると、「えんえい(先生)」と言って、何かを要求してくる。 「ほん、いや」等の二語文も聞かれるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものの名称を覚える。 自分の思いや気持ちを短い言葉で表現することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 好きな音楽を聴いたり、絵本を読んでもらったりすることを好む。 音楽や言葉などに合わせて身体を動かして楽しむことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたこと、考えたことを身振りや表情、言葉など、様々な方法で表現することを楽しむことができる。
その他		

学年・組		年少・〇〇組		氏名		〇〇〇〇																
領域等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
領域等 ね ら い と 域 内 容 ・ 活 動	<p>○安心して登園し、教員に親しみや信頼をもつ。 ・喜んで登園する。 ・自分のクラスが分かり、担任や友達に親しみをもつ。</p> <p>○生活の流れが分かり園生活に慣れる。 ・一人ひとりが安定する場所を見つけて生活する。 ・援助を受けながら、日常生活習慣や片付けなどを少しずつ覚える。</p>	<p>○園での生活の仕方が分かり、身の回りの始末等の生活習慣を身に付ける。 ・うがい手洗い排泄を自分でしようとする。 ・服の脱ぎ着の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・持ち物の始末や身の回りの簡単な始末をする。 ・遊んだ後の片付けの仕方が分かり、自分の出した物は元の場所へ片付ける。</p>	<p>○身の周りの始末を進んでするなどの生活習慣を身に付ける。</p>	<p>○基本的な生活習慣が身に付き、自信をもって生活できるようになる。 ・自分から進んで片付けや物の始末をする。</p>	<p>○好きな場所や遊びを見つけて遊ぶ。 ・園内のいろいろな場所を知り、安心感をもって過ごす。 ・いろいろな玩具の使い方を知り自分から遊ぼうとする。 ・土や砂、粘土の感触を楽しむ。</p>	<p>○体を動かして遊ぶ事やいろいろな遊びを楽しむ。 ・いろいろな遊びに自分からかかわり、十分遊ぶ。 ・水、砂、泥などの感触を楽しむ。</p>	<p>○友達と一緒に同じ遊びをする楽しさを味わう。 ・友達やクラスを意識し、遊びの中で少しずつかかわりが出てくる。 ・遊びの場や物の取り合いなどのトラブルを経験し、他人とのかかわり方を学ぶ。 ・遊びの中で、「貸して」「入れて」「ありがとう」などの言葉が使えるようになる。</p>	<p>○友達と一緒に遊んだり、話したりすることを楽しみ、一緒に行動しようとする。 ・年中児や年長児の行動を模倣したり、仲間に入れてもらったりして遊ぶ。 ・寒さに負けず体を十分動かして遊ぶ。</p>	<p>○教員や友達と歌や遊びを楽しむ。</p>	<p>○遊びや生活の中の必要な言葉が使えるようになる。</p>	<p>○気の合った友達と一緒に同じ遊びやごっこ遊びを楽しむ。</p>	<p>○ごっこ遊びやわらべうた遊びを教員や友達と楽しむ。 ・伝統的な正月遊びや昔遊びを経験する。</p>	<p>○経験した事、感じた事、想像した事をその子なりに表現する。 ・自分の思いを言葉で伝えようとする。 ・身近な素材を使って好きに作ったり描いたり、それを使って遊んだりする。</p>	<p>○作ったり描いたり、動いたりして、自分なりに表現することを楽しむ。 ・簡単な話の展開に沿って、おはなし遊びを楽しむ。 ・音楽に合わせてリズム楽器を鳴らし、楽器遊びを楽しむ。</p>	<p>○梅雨の自然に触れる。 ・雨などの自然現象に興味をもつ。 ・小動物に興味をもつ。</p>	<p>○季節の自然に触れ、関心をもつ。 ・身近な木々や草花の様子に気付き、遊びにそれらを取り入れて遊ぶ。</p>	<p>○自然のいろいろな現象に実際に触れながら、季節を感じる。</p>	<p>○年長児に手伝ってもらいながら身の回りの始末をするとともに、年長児に親しみをもつ。</p>	<p>○年長、年中児と一緒に活動を楽しむ。</p>	<p>○年長、年中児と一緒に活動を楽しみ、親しみを深める。</p>	<p>○年長、年中児にしてもらってうれしかったことを友達にもしてあげる。</p>	<p>○大きくなったことを喜び、進級に期待をもつ。</p>
	時間	8:30		9:00		9:40	10:20	10:45	11:10 11:40													
	活動	登園 あいさつ 着替え 持ち物の始末		運動		製作・環境 外国語活動	片付け	手洗い トイレ	好きな活動 遊び・ゲーム・絵本	降園準備	降園											
	日課	担当者 教員 / 支援員		支援員	支援員	担任/支援員	支援員	支援員	担任/教員	支援員	担任/支援員											
	活動内容	<p>運動：かけっこ、水泳、マット運動等 製作：工作、絵を描く（色・形・長さ・方向、文字等）</p> <p>環境：自然の中での遊び、飼育栽培等 外国語活動</p> <p>※活動内容は固定せず、クラスの状況や園児の様子によって柔軟に実施する。</p>																				

※ゴシック体は、特に個別的な支援を行う内容・活動を示す。

学年・組		年少・〇〇組		氏名		〇〇〇〇	
領域等	学期の指導目標	指導記録					
		指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価
			目標	内容	方法		
健康 人間関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> 登園時に自分の持ち物や衣服を片付けようとするができる。 トイレの後に手を洗おうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登園から片付けまでの流れを教室に掲示する。 ※支援員がついて支援する。 トイレが終わったら、「次は何をするの。」と問いかけたり、「これが終わったら、これをしようね。」と指示したりする。 ※支援員がついて支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 「次は〇〇だよ。」 「〇〇しようね。」と声をかけられて行動できるようになった。 自分がしたいことがあるときには、教員からの声かけに応じることが難しかった。 友達から声をかけられて、うれしそうに行動することもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 順序立てて行動することが難しかったり、声かけだけでは注意を向けることが難しかったりするので、絵カード等の活用を検討したい。 友達と一緒にトイレに行き、友達が手を洗う姿を見せたり、友達から声かけをするように促したりする。
	<ul style="list-style-type: none"> 教員や友達に誘われて、好きな遊びを楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児が好きな遊びのときに、教員が他の園児に本児を誘うように促したり、教員が間に入って本児を誘ったりする。 ※主に担任が支援するが、グループでの遊びが始まったら見守るようにする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 友達に誘われて遊ぶ姿も多く見られるようになった。 友達からの誘いに対して、「うん」とうなずいてうれしそうにしている姿も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、友達からの誘いや教員の仲立ちを行いながら、「〇〇、する？」など、自分でやってみたい遊びを言葉で伝えるよう促してみる。
	<ul style="list-style-type: none"> 春の遠足や避難訓練に安心して参加することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に行くことを分かりやすく伝え、見通しをもって参加できるようにする。 ※行事では、園長や主任等も本児を見守り、必要に応じて支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 一対一で分かりやすく伝え、必要に応じてそばについて行動することで、遠足の慣れない場所や避難訓練での突然の移動にも不安がることなく、最後まで参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員がクラス全体に話している内容を十分に聞くことが難しいことがあるので、最初は支援員がそばにつき、話の内容を確認しながら、徐々に距離をとっていくようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 教員からの問いかけに対して、言葉で答えようとするができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の言葉を聞き取ることが難しいときは、「もう一回聞かせて。」と言って、話したいことの意味を汲み取るようにし、本児の話したいという気持ちを尊重する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 二語文が増えた。 友達とも言葉でやり取りする場面も見られるようになってきた。 教員の誘いや提案に対して「いや。」と答えることも増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 二語文に対しては、教員が「〇〇が××なんだね。」と表現してみせる。 本児が「いや。」と言っても、直ちに受け入れず、次の言葉を待つとともに、必要に応じて我慢することも経験させる。
	<ul style="list-style-type: none"> 絵を描きながら、関連したイメージを動作や言葉で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児が見せる率直な表現を受け止め、「〇〇だね。」と声をかけるなどして、安心感や表現の喜びを感じさせる。 ※主に担任が支援するが、他の教員も適宜声をかける。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 春の遠足の描画では、描いた動物の鳴き声を真似たり、家族や友達を描いたりするときに、教員が言葉で確認すると満足そうな表情をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 描いた絵を題材に、楽器で音を出して遊ぶ活動を用意し、表現方法を増やすようにする。

<注1> 指導の形態や指導の場所等については、「指導内容・指導方法・手だて等」の欄に必要に応じて記載する。

(例) 「週1時間は通級指導教室を利用する。」 「グループ別の指導を基本とするが、週1時間は個別に指導・支援する」 「登園時の活動や集団での遊びの場面では、補助教員、支援員が個別的な支援を行う。」

<注2> 評価については、指導目標・指導内容・指導方法を必要に応じて1～4で概括し、顕著な部分を「指導の経過と評価」の欄に文章で記述する。

(例) 4段階評価 (4: 高く評価できる 3: 評価できる 2: 部分的に見直しが必要 1: 全面的に見直しが必要)

「個別の指導計画」記入例 2

- ◆「使った物や脱いだ服等を片付けるのが難しく、人の話を最後まで聞くことが苦手で、順番を待つことに困難を示す」幼稚園年中児の記入例です。
- ◆様式2は、特に支援や配慮を必要とする指導内容や園の行事を示すようにしています。
- ◆様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、主に支援する教職員を記入しています。

学年・組	年中・〇〇組	園長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

個別の教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①身の回りのことができるだけ自分でできるようになる。 ②友達と一緒に行動できる。	個別の教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①登園時の片付け、給食の準備や片付けを意欲的に行う。 ②教員や友達と好きな遊びを楽しむ。
------------------------------	---	------------------------------	---

領域等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標	
領域等	聞く・話す・見る	<ul style="list-style-type: none"> ・集団では難しいが、個別に指示されると理解できる。 ・自分の思いを伝えたいという気持ちが強く、人が話をしている途中でも、積極的に話し続けることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員や友達の話落ち着いて最後まで聞く。
	運動・身体	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを積んで遊ぶことを好み、一人で楽しそうに過ごしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分に動かし、苦手なことにも取り組もうとする。
	描く・つくる	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くことが好きである。 ・ひもを結んだり、はさみを使ったりするなどの細かな運動がぎこちない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな道具を使って製作活動に取り組む。 ・ひもを結んだりほどいたりすることができる。
	人間関係・集団参加	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、楽しそうな表情で活動に参加するが、友達と手をつないだり、触れ合い遊びをしたりする場面では、遊びに入りづらいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での生活に必要な言葉を使ったり、順番を守ったりする。
	生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があり、教員が声かけをすれば、衣服の着脱や持ち物の片付けを行うが、使った物や脱いだ服等を、そのままにしておくことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な態度を身に付け、自分から進んで行く。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック、キャラクターカード、ミニチュア人形遊びを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい遊びに興味を示し、教員や友達と一緒に楽しむ。 	

学年・組		年中・〇〇組		氏名		〇〇〇〇					
領域等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ね ら い	〇園や教員に親しみをもち、喜んで登園するようになる。 〇好きな道具や遊びを見付け、楽しく遊ぶようになる。	〇教員や友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。 〇いろいろな遊びに興味をもち、十分に楽しむ。	〇友達と触れ合いながら、いろいろな遊びを楽しむ。 〇友達と言葉を交わしながら遊ぶことを楽しむ。 〇戸外で元気に遊んだり、身体を動かしたりしながら、秋や冬の自然に親しむ。	〇自分の思いを出しながら、気の合う友達と遊びを楽しむ。 〇年長児になることに期待をもつ。							
	〇登園後いろいろな遊びをする。 〇園庭の遊具で楽しく遊ぶ。 〇園での生活の流れを知り、簡単なきまりを守る。 〇教員に親しみをもち、つ。	〇自分で好きな遊びを見付けて遊ぶ。 〇戸外での遊びを十分楽しむ。 〇自分の身の回りを自分なりに片付けようとする。 〇先生や友達と一緒に遊ぶ。 〇年長児の遊びに誘われて遊ぶ。 〇身近な草花や小動物を見たり触れたりして親しみをもつ。 〇水や土、砂などに触れ、夏の遊びを楽しむ。	〇元気いっぱい身体を動かして遊ぶ。 〇運動遊びに興味をもち、やってみようとする。 〇危険な遊び方があることを知る。 〇上着や手袋などの着脱や片付けを自分なりにやろうとする。 〇友達と触れ合いながらいろいろな遊びをする。 〇好きな友達を誘ったり、自分も仲間に入ったりして遊ぶ。 〇身近な自然に関心をもち、自然物を使って遊んだり、集めたりする。	〇簡単なルールのある遊びを楽しむ。 〇教員に頼らず自分でやろうとする。 〇自分の思いを出しながら気の合う友達と遊ぶ。 〇年長児に感謝の気持ちをもつ。 〇冬の自然に触れて戸外で元気に遊ぶ。							
領 内 容 域 等 活 動	〇生活に必要な道具や用具に少しずつ慣れる。 ・ 〇したいこと、してほしいことを教員に伝えようとする。	〇幼稚園の道具はみんなのものであることに気付く。 〇先生の話を楽しんで聞いたり、自分の思っていることを喜んで話したりする。 〇身近ないろいろな素材に触れて遊ぶ。	〇道具を独り占めしないで友達と分け合ったり、順番に使ったりする。 〇教員や友達と言葉をやりとりして楽しく遊ぶ。 〇身近な素材で好きな物をつくったり描いたりする。	〇教員や友達と一緒に過ごす楽しさを十分に味わう。 〇見たこと、聞いたことなどを教員や友達に話したり、相手の話を聞いたりする。 〇いろいろな道具や素材に関心をもち、喜んで描いたり作ったりする。							
	〇教員と一緒に手遊びをしたり、歌ったりする。 〇絵本やお話を喜んで見たり聞いたりする。	〇先生や友達と一緒に歌をうたったり身体を動かしたりする。 〇身近ないろいろな素材に触れて遊ぶ。	〇曲に合わせて動いたり、楽器を楽しく鳴らしたりする。 〇お話の筋の展開を楽しみながら、お話を聞いたり聞いたりする。	〇友達と一緒に歌ったり楽器を鳴らしたり、踊ったりする。 〇絵本やお話を見たり聞いたりしながら、思ったこと、考えたことを話す。 〇大きくなっていく喜びを感じ、いろいろなことに頑張ろうとする。							
行事	始業式 入園式 春の遠足 給食(弁当) 開始	子どもの日 のお祝い さつまいも の苗植え 保護者参観	内科・歯科検 診 七夕 夏祭り 親子遊び	始業式 運動会 祖父母参観	サツマイモ ほり 大根抜き	七五三 もちつき	始業式 団子さし	節分・豆ま き 公開作品展 卒園式 生活発表会 修了式	ひなまつり 会		

※ゴシック体は、特に個別の支援を行う内容・活動を示す。

学年・組	年中・〇〇組	氏名	〇 〇 〇 〇					
学期の指導目標		指導記録						
		指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価	
			目標	内容	方法			
領域	聞く・見る・話す	<ul style="list-style-type: none"> 椅子に座り、最後まで話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がろうとしたときには教員が肩を軽く押さえたり、声をかけたりして座るように促す。 ※主に補助員が支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 話の途中でも、自分の思いを教員に聞いてもらおうと話し出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の話の短く区切り、短い時間聞くことから始める。 友達に対しても自分の思いを積極的に主張するので、教員が仲立ちになる。
	運動・身体	<ul style="list-style-type: none"> 歌に合わせて、楽しんで身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員も一緒に動いて誘ったり声をかけたりする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な活動も一度できると何度も繰り返し続けることができた。 あまり聴いたことのない歌は、その場で立ったままだったが、教員に誘われると、元気よく身体を動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の動きのパターンを短く、簡単にして繰り返すことで自信をもたせる。 園児たちの好きなTV番組やCMの曲を流して、主体的に身体を動かせるようにする。
	描く・つくる	<ul style="list-style-type: none"> はさみで直線にそって切る。 弁当の包みを結んだりほどこいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 直線を太く描いて見えやすくする。 昼食時、補助員がそばにつき、必ず確認し、できたときはしっかりと称賛する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 細かい作業では、早く仕上げたい気持ち先走ってしまい、思い通りに切ることができない。 一人でひもを結ぶことができるようになったが、ほどここうとすると逆に固結びになってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 部分的には線にそって切ることができるので、切る長さを短くすることから始める。 ひもをほどこく前に、教員が少しゆめめておくとともに、どの方向に引けばよいのかを、繰り返し、丁寧に教える。
	人間関係・集団参加	<ul style="list-style-type: none"> 物を借りるときは、「かして」と言う。 順番に並び、順番が来るまで待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 黙って借りたときには、「何て言えばいいのかな」と問いかける。 後ろから来たとき、列の一番後ろに並ぶように声をかけたり、必要に応じて補助員がそばで本児の思いを聞いたりする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 必要な言葉は分かっているが、使うことが難しい。 5月下旬頃から友達とのかかわりが増えるに伴い、トラブルも見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 黙って借りたときに指導するのではなく借りる前に、言うべき言葉を本児と確認するようにする。 比較的仲のよい小集団での活動の中で、短い待ち時間から始め、待つことをしっかりと経験させる。
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 登園時、持ち物をロッカーに整理して片付ける。 食器を正しく持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、その都度声をかけるとともに、イラスト等を使って、自分のロッカーが目立つようにする。 教員が正しい持ち方を見せるようにする。 ※登園時と給食時には、園長や主任も支援に加わり、本児の理解(実態把握)を深める。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 一人でできる場面が増えてきているが、周囲の幼児が気になることがある。 食器を安定して持てるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して声かけを行うが、本児の状況を見ながら、声かけを徐々に減らしていく。 家庭と協力して、箸を使う経験をさせるとともに、園で箸を使う場面とスプーンを使用する場面を検討する。

<注1> 指導の形態や指導の場所等については、「指導内容・指導方法・手だて等」の欄に必要なに応じて記載する。
 (例) 「週1時間は通級指導教室を利用する。」「グループ別の指導を基本とするが、週1時間は個別に指導・支援する」「登園時の活動や集団での遊びの場面では、補助教員、支援員が個別的な支援を行う。」

<注2> 評価については、指導目標・指導内容・指導方法を必要に応じて1~4で概括し、顕著な部分を「指導の経過と評価」の欄に文章で記述する。
 (例) 4段階評価 (4: 高く評価できる 3: 評価できる 2: 部分的に見直しが必要 1: 全面的な見直しが必要)

「個別の指導計画」記入例 3

- ◆「自分の思い通りにならないと、感情的になったり、突然高い所に上がったりしてしまう」幼稚園年長児の記入例です。
- ◆様式2は、特に支援や配慮を必要とする指導内容や園の行事と、その行事の際、主に支援する教職員を記入しています。
- ◆様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、家庭との連携や通級指導教室の利用についても記入しています。

学年・組	年長・〇〇組	園長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

個別の 教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)		個別の 教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	
----------------------------------	--	----------------------------------	--

領域等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標	
領域等	生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えや持ち物の整理など、手順を理解すると進んで取り組むことができる。 ・食事中気になることがあると席を離れたり、遊び始めることがある。 ・促されてトイレに行くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分からトイレに行くことができる。
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・指さしやジェスチャーを利用すると、指示を理解しやすい。 ・嫌なことに対して、「いや」という言葉で意思表示をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたいことを言葉で伝える。
	遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びのときには、机やロッカーの上など、高い所に上っていることが多い。 ・音楽を聴くことが好きで、一人で楽しそうに過ごしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたい遊びを見つけて楽しむ。
	人間関係・集団参加	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いがうまく伝えられないときに、感情的になったり、手が出てしまうことがある。 ・日によっては、集団遊びに参加せず、一人で園舎内のいろいろな部屋を見て回ることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とのかかわりを広げる。
その他			

学年・組		年長・〇〇組			氏名		〇〇〇〇				
領域等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
領域等	ね	〇いろいろな遊びの楽しさを感じ、意欲的に取り組む。 〇いろいろな友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。 〇目的をもって、気の合う友達と一緒に遊ぶ。	〇自分の考えや思いを相手に伝えたり、相手の思いに気付いたりしながら遊ぶ。	〇友達と力を合わせて遊ぶ楽しさや、充実感を味わう。	〇友達とのかかわりを深め、互いを認め合いながら、園生活を楽しむ。						
	ら	〇年長児になったことを喜び、自信をもって生活する。	〇自分なりの目的、目標をもち、最後まで取り組む。 〇体を十分に動かして遊ぶ。	〇共通の目的に向かって考えを出し合い、遊びを進める。	〇友達と一緒に目的や見通しをもって、遊びや活動に取り組む。						
領域等	い	〇身近な自然の変化に興味や関心をもち、楽しむ。	〇自然の変化や美しさ、面白さに気付く、自分なりに遊びに取り入れる。	〇自然の変化や、伝統的行事に関心をもつ。	〇のびのびと体を動かしたり、冬の特性を生かして遊んだりする。 〇修了や就学への喜びを感じながら、自信をもって生活する。						
	活	〇衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分で行う。 〇いろいろな友達と様々な遊びの楽しさを共感しあう。	〇考えたことや気付いたことを言葉にして友達に伝える。	〇園での生活の仕方の必要性に気付き、自分たちの生活の場を整える経験を積む。 〇互いの考えを聞いたり、受け入れたりしながら遊びを進めていく。	〇自分のしたいことに進んで取り組んだり、苦手なことに挑戦したりする。 〇一人ひとりが十分に自己表現したり、友達のよさを受け入れたりしながら、一緒に生活する楽しさを味わう。						
領域等	容	〇自分の考えや要求を相手に分かるように伝えたり、トラブルを自分たちで解決しようとしたりする。 〇気の合う友達とイメージをもって遊ぶ中で、自分の考えや要求を伝えたり、簡単な相談をしたりする。	〇意見のぶつかり合いを経験し、自分たちで解決しようとする。 〇自分たちの力を試したり、挑戦したりしながら遊ぶ。	〇自分たちで遊びのルールを考えたり、守ったりして遊ぶ。 〇友達と相談しながら、遊びがより楽しくなるように工夫する。 〇年少児の手伝いをしたり、一緒に遊んだりする。	〇友達と力を出し合ったり、助け合ったりしながら、目的や見通しをもって遊びや活動に取り組む。						
	動	〇集団ゲームの中で、友達とかかわりを楽しんだり、ルールや約束を守ったりして遊ぶ。 〇季節の変化を感じながら、戸外でのびのびと遊ぶ。 〇飼育物の世話や、栽培物の生長に期待をもつ。	〇いろいろな運動遊びに興味をもち、進んで取り組む。 〇砂や水、自然物を使い工夫して遊ぶ。 〇自分たちが世話をした栽培物の生長や、収穫を喜ぶ。	〇友達と一緒に自信をもって表現活動を楽しんだり、目的や課題を意識して取り組んだりする。 〇戸外で、自然物や気温の変化などに気付き、興味をもつ。 〇年末年始の行事や生活に、興味や関心をもって遊ぶ。	〇雪や氷の特性を利用した遊びを考えたり、遊び方を相談したりする。 〇修了・就学に向けた様々な活動に意欲的に取り組む。						
行事	始業式 入園式 新入園児歓迎会 定期健康診断	親子遠足 小学校運動会 プール指導 さつまいも苗植え ポニースクール体験	じゃがいもほり 小学校交流会(プール) 安全教室 終業式	始業式 遠足 敬老の集い 英語で遊ぶ う	運動会 さつまいも ほり 遠足 焼きいも 観劇 英語で遊ぶ う	生活発表会 小学校行事 う 子ども会 ポニースクール体験 終業式 う	始業式 もちつき 観劇 ポニースクール体験 う	豆まき 小学校交流会(給食) 卒園式 年長組を送る会 交通安全教室 英語で遊ぶ う	親子お別れ会 修了式		
その他	・儀式的行事は補助員が支援する。 ・畑の作業と運動会は仲のよい友達とペアで活動する。	・プールは園長が見守る。 ・英語で遊ぶ活動では好きな曲でリトミックを行う。	・焼き芋は補助員が支援する。 ・畑の作業と生活発表会は仲のよい友達とペアで活動する。	・儀式的行事は補助員が見守る。 ・もちつきや雪遊びでは、小グループで活動させる。							

※ゴシック体は、特に個別の支援を行う内容・活動を示す。

学年・組		年長・〇〇組		氏名		〇〇〇〇		
領域等	学期の指導目標	指導記録						
		指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価	
			目標	内容	方法			
生活習慣 言語・コミュニケーション 等遊 び 人間関係・集団参加	・登園後と降園前にトイレに行く。	・登園時と降園時の流れをカード化し、その中にトイレに行くことを位置付ける。 ・排尿リズムについて家庭と話し合い、一日の中でトイレに行く時間をおおよそ決めて、トイレを促す。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・降園前のトイレは日課になりつつある。 ・登園時は着替えや音楽を聴くことが優先し、トイレに行くことが後回しになった。 ・声かけに対してトイレに行こうとしないので一緒に行くと、全く排尿がなかった。	・登園後に「着替え」「片付け」「音楽を聴く」「トイレに行く」という流れを決めて、促してみる。 ・表情や仕草をよく見て、排尿したくないようであれば、無理強いしない。	
	・自分のしたいこと、してほしいことを教員に伝える。	・本児の気持ちに寄り添いながら、声かけをしたりスキンシップを図ったりして安心感をもてるようにする。 ・表情や仕草をよく見て、そのときの本児の気持ちを分かりやすい言葉にして語りかける。 ※週に1回、通級指導教室でも指導する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・教員とのかかわりの中で、言葉が出るようになった。 ・話し方がゆっくりであるため、友達の間では会話が成り立ちにくい。	・自分のしたいことを写真やカードで伝えさせ、その際、教員が、「〇〇したいんだね。」と言葉で確認することによって使える言葉を増やすようにする。 ・「いや」という意思表示をしっかり受け止めた後、「□□がいやなのかな。」「××だからしたくないのかな。」と、具体的な言葉に置き換えて語りかける。	
	・教員とかかわり、親しみを深めながら、自分の好きな遊びを見付ける。	・教員は興味関心のある遊びを探り、誘いかけたり、一緒に遊んだりする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・当初は音楽とラジカセ以外に興味を示さず、園内で過ごす場所も固定していたが、徐々に遊戯室にも行くようになり、教員を誘うこともあった。	・「〇〇(遊び、活動)は□□(場所、教室)です」と決めて、自分から目的をもって移動しやすいようにする。	
	・ルールのある遊びに参加し、友達や教員とのかかわりを楽しむ。	・必要に応じて教員が他の幼児との間に入るようにする。 ・ルールや役割が分かりやすい遊びを提示する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・日によっては集団に入ることが難しかったので、補助員がそばにつき、友達が遊ぶ様子を一緒に見るようにした。 ・「じゃんけん列車」では、ルールを理解し、友達との活動を楽しむことができた。	・教員が一对一でかかわりながら、友達と同じ場で活動する時間が増えるようにする。 ・今後も、本人の得意なことを生かした遊びを工夫する。	

<注1> 指導の形態や指導の場所等については、「指導内容・指導方法・手だて等」の欄に必要なに応じて記載する。
 (例) 「週1時間は通級指導教室を利用する。」「グループ別の指導を基本とするが、週1時間は個別に指導・支援する」「登園時の活動や集団での遊びの場面では、補助教員、支援員が個別的な支援を行う。」
 <注2> 評価については、指導目標・指導内容・指導方法を必要に応じて1～4で概括し、顕著な部分を「指導の経過と評価」の欄に文章で記述する。
 (例) 4段階評価 (4: 高く評価できる 3: 評価できる 2: 部分的に見直しが必要 1: 全面的な見直しが必要)

「個別の指導計画」記入例 4

- ◆「学習課題に対する自信のなさから取組が消極的になってしまったり、友達へのかかわり方が一方的でトラブルを起こしてしまったりすることが多い」小学校4年生の記入例です。
- ◆様式1は、基礎的な学力の定着が課題になっていることから、「国語」「算数」について記入しています。
- ◆様式2は、「その他」に、校内委員会等で検討した、各教科に共通する配慮事項を記入しています。

学年・組	4年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①興味に向かない学習にも取り組もうとする。 ②基礎的な学習の定着を図る。 ③感情をコントロールする。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①苦手な課題のときも教室から出ずに取り組もうとすることができる。 ②読める漢字を増やし、くり上がり、くり下がり、くり下がりの計算を正確に計算することができる。 ③感情が高ぶったときに、教師の促しにより学習支援室でクールダウンできる。
---------------------------	--	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教 科 領 域	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習に取り組み、内容を理解することができる。 ・4年の新出漢字(よく使う漢字に限定して)を覚える。
	算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算や割り算の基礎的な計算を確実に行う。 ・文章題を表した図を見て問題を解くことができる。
授 業 参 加	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方が理解できれば、意欲的に課題に取り組むことができる。 ・どうしてよいか分からなかったり、課題が苦手であったりすると、席を立ってしまう。 ・授業中、しゃべり続けるために、指示を聞き落としてしまうことが多い。 ・釣りや昆虫が好きで、しばしば図鑑などを見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に落ち着いて参加することができる。 ・教師の合図で、黙って話を聞くことができる。
対 人 活 動 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くしたい気持ちが強く、ちょっとした言い争いを出して、トラブルになってしまうことがある。 ・自分の思いを適切な言葉で伝えることが難しく、自分の意に沿わなかったり、イライラしたりすると暴言を吐いたり、力に訴えたりしてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暴言、暴力に至らないように感情をコントロールできる。 ・友達に言葉で関わるることができる。
そ の 他		

学年・組		4年〇組			氏名		〇〇〇〇				
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科 ・ 領域 等 数	国詩	こわれた千の楽器	スピーチ ヤドカリ とイソギンチャク	夏のわすれもの	くらしの百科 ローマ字	世界一美しいぼくの村	美ウミガメのはまを守る	活動報告	くらしの 中の和と洋	ごんぎつね	伝えたいこと ローマ字
	算数	円と球 わり算の筆算	一億をこえる数 折れ線グラフ 角と大きさ	垂直・平行と四角形	小数面積	面積 三角形 式と計算	およその数 わり算	わり算 小数の計算	かわり方 分数	分数 直方体と立方体	そろばん 復習
その他	<p>※生活面の課題については、校内委員会等で検討し、学習活動全体で指導、必要に応じた配慮をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手な学習については、本児童の状況に応じて、友達の活動の見学や応援も選択肢の一つとする。 ・ 釣りについて学級で発表する機会を設ける（朝学活、学級活動、総合的な学習の時間等） ・ 参加が難しい活動については、担任に申し出て、できる活動に取り組ませる。 ・ メダカの飼育等、意欲的に係の仕事を果たすことができるような内容を検討する。 										

学年・組		4年〇組	氏名	〇〇〇〇			
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の			指導の経過と評価	評価
			目標	内容	方法		
国語	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の教材文(物語文・説明文)を読むことができる。 新出漢字を30字覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> リライト教材を作成し、授業中に使用させる。 通級教室や家庭と連携し、読みの練習をする。 漢字練習の作業量を減らす。 漢字九九を使って漢字を覚えさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> リライト教材はとても有効で、喜んで音読練習をした。 漢字九九が有効だった。漢字練習への取り組みが意欲的になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習により音読や漢字の練習を補充するとよい。 テストやワークシートの取り組みには援助が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> 小数、面積、二桁の割り算を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい単元のはじめに、解き方が理解できるように、可能な限り個別に指導する。 具体物を操作させながら計算方法を考えさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 小数の大きさをイメージすることに戸惑ったが、カードで図示することで理解して、自信をもって計算に取り組んだ。 具体物を分け、割り算の意味を確かめることで式を正しく立てることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算手順をまとめたカード(図)を必要に応じて参考にさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 育てたい野菜を決め水やりなどの世話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の祖父(農家)をゲストティーチャーとして招へいし、野菜の育て方について話を聞く。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> トマトを選び世話をした。祖父に教えられたとおりわき芽を見つけて指で取っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> やるべきことが分かるがんばろうとするので、活動の流れを黒板に記すようにしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 教師の合図で話をやめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の開始前に、合図で静かにすることを約束する。 黙っているときにそっと声をかけてよい態度をほめる。 しゃべり始めてしまったら、できるだけ声をかけず、絵カードを見せて、静かにすることを知らせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 事前の指導ができないうことが多かった。 黙っているときに声をかけることが少なく、しゃべり始めて注意することが多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助教員の協力を得て、事前の約束をする。 黙っているときに声をかけて評価するよう心がける。 カードは有効であるので継続する。
領域等	<ul style="list-style-type: none"> 教師が個別対応することで、着席して課題を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席を前にする。 隣に行動の手本になる児童を配置する。 全体への指示の後、個別に説明する。 課題に取り組んでいる時にしっかり声をかけてほめる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 言葉での説明が多くなると、落ち着かず、理由をつけて離席することがあった。 わかりやすい指示の仕方を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な支援を工夫する。 教材にふりがなを付けるなどの援助をする。 言葉での指示は短く明確に出す。
	<ul style="list-style-type: none"> 友達との適切な距離を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 30cmの距離を教える。 担任は他児との仲介を行い、本児の思いを代弁する。 適切な言動を練習させる。 学級ソーシャルスキルによりルールのある学級をつくる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 自分が関わりたい友達との距離が適切でなく、トラブルになることが多かった。 同じ趣味の友達と楽しく過ごせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人に対する丁寧な言葉遣いが難しい。 場面を設定して適切な言動を学習する必要がある。
生活関係	<ul style="list-style-type: none"> 力に訴えることの手代わりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室と連携し、友達とのかかわり方を教える。 補助教員が他児との間に入りその場で暴力を止め、適切な言葉を教える。 友達と落ち着いて過ごしているときに、声をかけてほめる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 教師のしている場ではたたく行為は減ったが、他児からの訴えは続いている。 素直に謝ることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の気弱な面を理解し、指導にあたる必要がある。 引き続き善悪の区別をはっきりと教える。

「個別の指導計画」記入例 5

- ◆ 「学年相応の学力があるが、相手や周囲の状況を判断して行動することが難しく、情緒不安定になったり友達とトラブルになってしまったりすることが多い」中学校 1 年生の記入例です。
- ◆ 様式 1 は、各教科に共通する指導の目標を記入しています。
- ◆ 様式 2 は、学級の年間指導計画に、特に支援や配慮が必要となる教科や単元、学校行事等を網掛けで示すとともに、「その他」に、学級運営上の工夫を記入しています。

学年・組	1年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)		教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	
---------------------------	--	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教科 ・ 領域 等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面での遅れは特になく、情緒が安定していれば、授業参加もスムーズである。 ・聞くことによる情報の理解が不十分なため、何度も繰り返し同じ質問をすることがある。 ・学年相応の計算問題はほぼできる。 ・行動力があり、考えて物事に取り組むよりは、感覚的（直感的）に行動することが多い。 ・国語や社会の授業では、自分の考えを書くといった作業は敬遠しがちである。 ・細かいことは気にしないため、指摘された間違いの見直しに応じることが少ない。 ・釣りやパソコンに関する知識が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業という場を意識して参加することができる。 ・説明や指示を聞き取る力を高める。 ・伝えたい内容を筋道を立てて考え、書くことができる。
生徒 関係 ・ 面 ケ ー シ ョ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・場の雰囲気を読み取ることが苦手である。 ・情緒が不安定になると泣いたり、人をたたいたりすることがある。 ・自分に自信がもちにくいいため、否定的な言葉に敏感になってしまう。 ・自分の興味関心や疑問を優先するあまり、結果として、相手や周囲の状況を判断して行動することが難しくなってしまう。 ・こだわりや、独り言などがみられる。 ・相手に合わせた言葉遣いができ、特に年長者とは敬語で会話できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とトラブルがあったとき、その原因を考えることができる。 ・担任に申し出て教室を出ることで気持ちを落ち着かせることができる。 ・相手の状況を考えて、かかわり方を考えることができる。 ・声かけやカードによる促しに応じて、行動に移ることができる。 ・友達に対する要求を言葉で伝えることができる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりが強く、情緒不安定になったり、友達とトラブルになったりすることが多いが、本生徒人は周囲の生徒と仲良くし、仲間をつくりたいと思っている。 ・授業中に情緒が不安定になったときは、基本的に授業担当者が対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのよさや個性を認め合う学級づくりに努める。 ・家庭と連携し、生活環境における刺激や情報量の抑制や制限を検討する。

学年・組		1年〇組			氏名			〇〇〇〇					
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
教科領域等	国語	詩「朝のり」 「聞きひたる」 物語「竜」	日本語の音聲 説明文「くじらの飲み水」	討論ゲーム 漢字の成り立ち	漢字の組み立て 随筆「アイスキャンデー売り」	ことばのまことまり 文の組み立て 論説「玄関扉」	報告・レポートを書く 話し言葉と書き言葉 古典「かくぐ姫」	古典「矛盾」 漢字の部首 物語「空中ブランコ乗り」	体験文を書く 文法「単語・名詞」	報告「食感のオノマトペ」 詩「ウソ」 小説「トロツコ」	スピーチ 台詞とト書き	学校案内・パンフレットづくり	
	社会	<地理> 地球の姿 世界の国々の姿 <歴史>	日本の姿		県の調査			山口県を調べよう		自分の好きな県を調べよう			
	数学	正の数・負の数 加法・減法	加法・減法 乗法・除法	文字と式	式の計算	等式の性質 一次方程式	一次方程式 比例	比例 反比例	反比例 平面図形の基礎	平面図形の基礎 いろいろな作図	空間図形の基礎 立体の構成	図形の計算	
	理科	身の回りの生物の観察 植物のつくりと働き	植物のつくりと働き	植物のつくりと働き 植物の仲間	光と音	光と音 力と圧力	力と圧力	地層の過去 火山と火成岩 地層と堆積岩	火山と火成岩 地震と大地の変動	地震と大地 身の回りの物質 物の状態の変化	物の状態の変化 気体の性質	水溶液の性質	
	音楽	校歌 リコーダーの基礎 演奏の基礎	発声練習 鑑賞「魔王」		合唱の響き 合唱コンクール課題曲・自由曲			我が祖国「フルタバ」 雅楽「越天楽」	郷土の音楽	卒業式に向けて 混声合唱		アンサンブル	
	美術	美術との出会い スケッチの楽しみ クロッキー			色の広がり、色の魅力 楽しいメッセージ 美術作品との出会い			自然を生かして やさしさのデザイン 版画表現の楽しみ			彫刻の楽しみ		
	保健体育	体づくり運動 体育に関する知識	短距離走 リレー	バレーボール 心身の発達 と心の健康	バレーボール	陸上競技 (幅跳び)	陸上競技 心身の発達 跳び箱	柔道 心身の発達 と心の健康	長距離走	サッカー 長距離走	サッカー 心身の発達 と心の健康	サッカー	
	技術	技術と生活 <製品の設計> 導入	製品の決定 製品の考案	材料の選定 作成の方法	製図								技術とものづくりの未来
	家庭	自分の衣服	衣服の選び方	衣服の材料	衣服の清潔	住まい 家族 住まい方の工夫	室内環境 室内の安全 性 住まいの清潔	商品の選択 と購入 販売方法と支払い トラブルの解決	季節と月 秋の散策	消費生活と環境 家族関係 地域生活	家庭のはたらき 食習慣と食事の役割		食品の栄養と栄養素
	英語	アルファベット 英語でいえるかな	新しい友達との出会い 外国からの転校生	クラブ紹介 人物紹介クイズ 曜日	好きな物 自己紹介 数詞の足し算・引き算	海外の学校生活 時間割	ニックの家 庭(家族の呼び方) フリーマーケット	季節と月 秋の散策	道案内 ニックの帰国 電話で話そう(電話の広答)	ニックの帰国 英語絵日記 電話で話そう(電話の広答)	マリアの国 ブラジル 英語絵日記		クロスワード トランプ
	特別活動	中学生になって 学級作り 遠足	体育大会の取組 学習の方法	進路学習 クラスマッチ	1学期の反省 夏休みの生活	学級作り 私にできること	文化祭の取組 団の一員として	文化祭の反省 生命の創造	生徒会選挙 クラスマッチ	学級作り 男女理解と協力	自分の特色 ・友人のよさ 職業	卒業式の取組 1年間の反省と進級	
	道徳	真実愛 理想の実現 国際理解 人類愛	基本的な生活 習慣 家族愛 生命の尊重	責任感 強い意志 異性理解	友情 畏敬の念 自然愛護	生命の尊重 公徳心 生きる喜び	礼儀 思いやり 愛校心	きまりを守る 正義 国民としての自覚	基本的な生活 習慣 謙虚な心 広い心	集団生活の向上 生きる喜び 自主自律	郷土愛 家族愛 自然愛護	勤労と奉仕 思いやり 個性の伸長	
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間の説明	絵本作りの説明 テーマ設定 ・シナリオづくり 絵本の製作	地域ボランティア ボランティアの反省と課題設定 計画立案	施設訪問 事後指導 アンケート ・感想文	文化祭発表への取組 グループのまとめ	文化祭の発表 「読み聞かせ」の計画、準備	「読み聞かせ」活動 訪問活動のまとめ	地域ボランティア	総合的な学習の時間のまとめ			
	学校行事	就任式 始業式 大掃除 入学式 離任式 身体測定	体育大会 行 体育大会 健康診断	生徒総会 市総合体育大会	大掃除 終業式	始業式 宿泊学習	文化祭	総合文化行事	生徒会役員選挙 大掃除 終業式	始業式 大掃除	大掃除	卒業式 修了式 大掃除	
	<p>所属学級の年間指導計画(進捗表)を転記します。あるいは、既存の計画を添付したり差し込んだりする方法も考えられます。その際、特に配慮や支援が必要となる教科や単元、学校行事等に網掛けをしておくと年間の見通しがもちやすくなります。</p>												
	その他	<p><学級運営上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の短学活での1分間スピーチの事前指導を個別に実施 ・当番の仕事内容を絵付きの表で掲示 ・あいさつ、着席、話の聞き方、メモをとること等を学級全体で毎時間確認 ・係の発表場面を学級活動の中に設定 <p>※生活面の課題については、校内委員会等で検討し、学習活動全体で指導</p>											

学年・組		1年〇組	氏名	〇〇〇〇					
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録						
			指導の			指導の経過と評価	評価		
			目標	内容	方法				
教科 ・授業 領域 等	<ul style="list-style-type: none"> 教師の発問や他の生徒の話最後まで聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定しているときに、挙手をして指名されてから答えるという適切な発表の仕方を示す。 落ち着いて発言を聞くことができたときには、その努力を称賛する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発言の順番を待つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し、自分がとった行動に自信をもたせるようにしたい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で教師の指示を意識して聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示の言葉を短くする。 話の前に注意を喚起する声かけをする。 	4	4	4			<ul style="list-style-type: none"> 事前の声かけに注意を向けることができた。 何から先にすればよいのかという優先順位をつけられず、周囲の行動とずれてしまうことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つの指示による行動ができたなら次の指示を出すようにする。 指示を絵や文字で表す工夫をする。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ順序立てて短い文に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 何を書くのかを最初に正確に伝える。 ひな形となる項目(始めに、次に、最後に)を提示する。 ヒントとなる文字や絵、写真などを示す。 	4	4	4				
対人 関係 生活 面	<ul style="list-style-type: none"> 不安定になって教室から出ても、落ち着いたら教室に戻ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室から出たことを叱責しない。 保健室や相談室を一人で休む場所とすることを約束する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ひどく不安定になることは徐々に減ってきた。 友達の言動から相談室に行くことが多い状況は変わらない。 自分の気持ちを担任に話すことができるようになってきた。 相手の気持ちや周囲の迷惑については、考えることを避けていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を見て、教室から一度出て落ち着くよう促す。 我慢できなくなったら自分から申し出るようにする。 本生徒が感じているつらさや悔しさを理解するよう努める。 自分の気持ちを言葉にして伝えるようにさせたい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 友達とトラブルになったときに、友達の気持ちについて教師と一緒に考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> トラブルのきっかけとなった事態を教師と一緒に振り返る機会を設ける。 落ち着いている状況で、どうすればよかったか話し合う。 	4	4	4				
	<ul style="list-style-type: none"> 要求、感謝、拒否の自分の気持ちを短い言葉で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学活の時間等でロールプレイやゲームを取り入れ、場面にあった適切な言葉遣いを学習させる。 	4	4	4			<ul style="list-style-type: none"> 教師と一对一のときや親しい友達に対しては言葉で表現できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の気弱な面を理解し、指導にあたることが大切である。
<ul style="list-style-type: none"> 自分の話を聞いてもらえない状況にあっても怒らず、かわり方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本生徒の話を聞けない状況にあるときは、その理由を説明して待たせる。 言いたいことをメモさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いているときには、説明を理解して待ったり、待っている間に書いたメモにより、伝えたいことを話したりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、あいさつと返事も含め、繰り返し指導して習慣化を図る。 			
<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> 学活の時間等でロールプレイやゲームを取り入れ、場面にあった適切な言葉遣いを学習させる。 	4	4	4					

「個別の指導計画」記入例 6

- ◆ 「自分のペースを守ろうとしたり、思ったことをすぐに言葉に出してしまったりしてトラブルになりやすい」 高等学校 1 年生の記入例です。
- ◆ 様式 1 は、各教科に共通する指導の目標を記入しています。
- ◆ 様式 2 は、特に支援や配慮が必要な教科及び HR 活動ごとに、具体的な支援の方法を記入するとともに、「その他」に、定期考査の際の配慮事項と各教科に共通する配慮事項を記入しています。

学年・組	1年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)		教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	
---------------------------	--	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教科 ・業 領域 等	<ul style="list-style-type: none"> 公式を使って答えを出す数学や理科は得意だが、主人公の心情を理解したり、自分の考えを表現したりする学習が苦手である。 授業への参加も概ね積極的で、興味のあることについては、他の生徒の意見を気にせず、何度も意見を発表する。 好奇心旺盛で、独創的な質問や急いで答えを求めがちなので、他の生徒が違和感を感じることも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方や授業内容を理解し、落ち着いて参加することができる。
生対 活関 面係	<ul style="list-style-type: none"> 他の生徒の間違いをストレートに指摘してしまうことがあるが、本生徒に悪気はなく、友達との約束や学校の規則はきちんと守る。 周囲に振り回されず、どんな時も自分のペースを大切にする。 非常に真面目で、曖昧な表現をそのまま受け止めてしまう。 友達にからかわれることがあり、一人でいることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の中で、教師や周囲の生徒の状況に配慮してかかわることができる。 (言葉かけ、注意の仕方、お礼や謝罪、誘い方等)
その他		

学年・組		1年 ○組			氏名		○○○○					
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国	<現代文>		評論 「言葉」 「子どもの問い」他	評論 「自然と人口」 「思うと考える」他	小説 「羅生門」他	詩 「道程」 「朝に」他	短歌と俳句 他					
	<古典>		古文 「古文に親しむ」 「竹取物語」他	古文 「徒然草」他	古文 「平家物語」他	漢文 「故事」「唐詩」他		古文 「伊勢物語」他				
	<支援・配慮事項>		<ul style="list-style-type: none"> ・説明の文章に区切りを示したり、登場人物の心情を表現している部分に線を引いたりするなどしたプリントを準備する。 ・文章の構成や場面を図式化して別途示しておく。 ・作業の手順がはっきりしているドリル形式のプリントも活用する。 ・新出漢字にはルビを振って、国語への苦手意識を軽減する。 									
科 保 健	オリエン テーショ ン	体づくり 運動	陸上競技 サッカー ・ソフト ボール	サッカー ・ソフト ボール	持久走	バレーボール・柔 道	バスケットボール	卓球・バドミント ン				
	集団行動	テスト	陸上競技	サッカー ボール								
領 域	<支援・配慮事項>		<ul style="list-style-type: none"> ・競技への取組の際、人には得意・不得意、できることと難しいことがあることを本生徒に適宜説明する。 ・個人競技については、練習の手順を十分に説明し、自分のペースで取り組ませる時間を確保する。 ・集団競技への参加は無理強いせず、難しい場合には静かに見学することを提案する。 ・集団競技についても、個人練習の時間を取り入れ、個別に支援を行う。 									
	オリエン テーショ ン	遠足につ いて	集団生活 について	期末試験 に向けて	体育祭 の準備	レクレ ーション	生徒会の 意義と選 挙	学ぶ意味 2年次の 教科と選 択	ディベー ト	ボランテ ィア活動	クラス文 集	
等 H	クラス目 標と係	国際化と 日本	ゲーム大 会	タバコの 害	体育祭・ 文化祭を 振り返っ て	男女交際	情報化社 会	人権	自由と責 任	HR合宿	別れの会	
		学習の方 法	いいとこ ろさがし	部活動と 学業	文化祭を 振り返っ て	親と子	大学の学 部と学科	進路情報 の収集	カラオケ 大会			
そ の 他	<支援・配慮事項>		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で生じる問題を、生徒同士の中で互いに協力しあうことで解決につなげるよう試みる。 ・担任が本生徒への望ましいかわり方を他の生徒にさりげなく示す。 ・集団行動や対人関係を円滑にするために、適宜学級全体で話し合う。 (学級全体で社会生活上必要となるスキルについて考える機会を設ける。) 									
	<p>※ここでは特に支援を行う教科・領域を記載している。各教科・領域の詳細はシラバスを参照すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査については、次の配慮をする。 <p><全生徒に対して>・評価の観点と方法の予告 ・レポートの提出 ・授業内容の理解が不十分な生徒への補習の実施</p> <p><本生徒に対して>・問題用紙の拡大 ・必要に応じて別室での口頭試問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の前に生徒全員が教科書やノートを机に出しているかを確認する。 ・授業中の質問のルールを学級全体で適宜確認する。 ・授業の始まりに、前半と後半の主な学習内容・活動を全員に伝える。 ・得意な数学や理科での学習でしっかりと自信をつけさせる。 ・いらいだちが見られたときは、自分の気持ちを落ち着かせる方法を提案する。 											

学年・組		1年 ○組		氏名		○○○○	
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の			指導の経過と評価	検討課題 (次学期に向けて)
			目標	内容	方法		
教科 ・ 業 領 参 域 加 等	<ul style="list-style-type: none"> 質問のルールを守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の前にルールを確認する。 「質問は3回まで。」 「他の生徒の発言中は発言しない。」 ルールが守れたときは、しっかりと称賛する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 発言を控えようとしていたが、聞きたいことをそのままにしておくことにいらだちを見せていた。 自分の発言に対する他の生徒の高ぶりや緊張に合わせて、突然大きな声を出すことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールを書いたメモを筆箱や机の上に貼り、常にルールを意識させる。 指導者は、冷静に、簡潔に、状況に応じてルールを説明する必要がある。 いらだったときの具体的な対応を検討し、本生徒に助言するとともに、関係の教員で確認する。 「相談室に行く。」 「深呼吸をする。」 「肩の力を入れたり抜いたりする。」
	<p><参考> 発達障害のある生徒への指導・支援や配慮については、文部科学省の特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議高等学校ワーキンググループ報告「高等学校における特別支援教育の推進について(案)」などが参考になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害の特性に応じた教科指導の配慮や工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・板書やプリントの工夫 ・わかりやすい指示(あらかじめ段取りを伝える) ・グループでの共同学習(作業的な内容) ・放課後の補習 ・特別支援学校学習指導要領の自立活動に類した取組 社会上必要とされるスキルを身に付ける学習 自らの心の動きや感情の変化を知ってコントロールする学習 個々の認知の特性とそれへの適切な対応を学ぶ学習 ○ICT機器等の効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラによる黒板の撮影 ・パソコンを使ったノートテイク ○多様な評価方法やテストにおける配慮～公平性を旨とすることが基本 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの実施に加えてレポートを提出 ・日常の授業への関心・意欲・態度等の観点を踏まえた評価 ・シラバスに授業内容や評価方法を掲載し事前に知らせる ・問題用紙の拡大 ・筆記試験に加えて(代えて)口頭試問やヒヤリングを実施 						
生 対 人 活 関 面 係	<ul style="list-style-type: none"> 仲のよい友達とうまくかわる方法を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達への声のかけ方や誘い方、お礼や謝り方などを放課後や昼休みの落ち着いた時間に、具体的に説明する。 友達とうまくかわれているときに、しっかりと評価する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 練習したかかわり方で3人の友達と遠足を楽しむことができた。 小グループでの活動には、教師の支援によりスムーズに参加できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と友達には考えや意見の違いがあることを引き続き説明する。 いろいろな規模(人数)のグループに参加する機会を設定する。 困ったときに相談する教員や友達を本生徒と一緒に確認するとともに、本生徒に理解のある生徒からも考えを聞いておく。

「個別の指導計画」記入例 7

- ◆「落ち着いて学習に取り組むことが難しいため、目標が達成できていないという感覚をもち、友達との活動に困難を示しはじめている」小学校2年生の記入例です。
- ◆通級指導教室で指導を受けています。
- ◆学級担任と通級指導担当者が一緒に記入しています。
- ◆様式1は、通級指導教室の主な指導内容（自立活動）と各教科について記入しています。
- ◆様式2は、学級の年間指導計画に、特に支援や配慮が必要となる教科や単元、学校行事等を網掛けで示すとともに、「その他」に、指導形態や学校行事前の指導や支援を記入しています。
- ◆様式3は、1学期の評価を受けての2学期の指導目標・指導内容・指導方法を記入しています。

学年・組	2年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	〇落ち着いて学習に取り組み、基礎的な力を身につける。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①成功体験を重ね、意欲をもって取り組める活動を増やす。 ②字を丁寧に書くとともに、文章を読み取る力を伸ばす。
---------------------------	----------------------------	---------------------------	---

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標	
教科 領域 等	自立活動	<p><生活面></p> <ul style="list-style-type: none"> 朝、授業中にトイレに行くことがよくある。 注意されて姿勢を正すことができる。 <p><行動面></p> <ul style="list-style-type: none"> 何事にも興味をもち、指示を最後まで聞かないで、自分の判断で動くことがある。 思ったことをストレートに友だちに言って、トラブルになることがある。 	<p><生活面></p> <ul style="list-style-type: none"> 休み時間にトイレに行くようにする。 望ましい姿勢の持続時間を少しずつ増やす。 <p><行動面></p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の指示をよく聞く。 相手を嫌な気持ちにさせない望ましい言葉を使う。
	国語	<ul style="list-style-type: none"> 視写が苦手でたくさん量を一度に写すことが苦手である。 漢字の習得が難しいこともあり、問題文を読み取ることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 字をていねいに集中して書くことができる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算の方法を理解すると意欲的に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 足し算、引き算の計算の方法を理解し、繰り返し練習して、確実に解けるようにする。 九九を覚える。
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌ったり、鍵盤ハーモニカを吹いたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなといっしょに楽しく歌う。 鍵盤ハーモニカで簡単な曲を演奏する。
	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分で工夫して作ることができる。 自分でどんどん先に進むため、作業が指示通りにできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生の指示をきいてから、課題の目当てにそって楽しく表現活動ができる。
	体育	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かすのが好きである。 ゲームのルールを理解できるが、ルールを守ることを重視し過ぎる傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 力の出し方をその場に合わせて、楽しんで身体を動かすことができる。 ゲームでは、友だちのことを考えながら仲良く参加することができる。
	道徳	<ul style="list-style-type: none"> 優しい気持ちはあるが、友だちとのかかわりがうまくいかず、一人になることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの気持ちを考えて行動することができる。
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会の進行、号令かけなど、決まった役割を確実に果たそうとする。 正義感が強く、友だちの悪いことをよく指摘してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 当番の仕事を確実に果たし、自信をもつ。
	授業参加	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、意欲はあるが、学習カードを書くことが難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲を大切にして、活動が最後までできるようにする。
	生活習慣 対人関係	<ul style="list-style-type: none"> 周りに気をとられやすく、鞆を片付けたり、連絡帳を書いたりすることに集中することが難しい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> よく遊ぶが、だんだん友だちとの遊びに入りにくくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校したら、まず鞆の片付けをする。 連絡帳を最後まで書く。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 友だちと楽しく遊ぶ。 けんかになったときは、相手の言い分を聞いたり、謝ったりできる。

学年・組		2年〇組			氏名			〇〇〇〇				
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教 科 ・ 領 域 等	国語	・楽しく声に出して読もう	・みんなの前で話そう	・順序に気をつけて読もう ・様子や気持ちを想像しながら読もう	・話しの順番を考えよう	・順序よく説明しよう	・話を読もう	・動物の秘密をさぐる	・見学したことを文章に書こう	・いろいろな遊びについて話し合おう	・昔話のおもしろさを味わおう	・書き方を工夫しよう
	書写	・字を書く姿勢	・片仮名の練習 ・画の長さ	・画の方向	・文字の中心	・片仮名の表	・文字の形 ・筆順	・画のつき方	・画の交わり方 ・書き初め	・画の間隔	・漢字の書き方	・賞状を書こう
	算数	・表とグラフ ・1000までの数	・足し算の筆算	・引き算の筆算	・いろいろな形 ・時計	・長さ	・かけ算	・かけ算	・かけ算	・長さ	・1000より大きい数 ・三角形と四角形	・足し算と引き算 ・2年のまとめ
	生活	・1年生と学校探検	・町を探検しよう ・おいしい野菜を育てよう	・町の夏 ・夏休み	・作って遊ぼう ・お年寄りと一緒に合おう	・町の秋 ・おともパーティー	・町の冬 ・冬休み ・年賀状	・町博士になろう ・自分の物語をまとめよう ・小さかった自分 ・大きくなった自分				
	音楽	・歌で友達の輪を広げよう ・ドレミで遊ぼう	・リズムに合わせて(身体表現)	・リズムに合わせて(身体表現)	・リズムに合わせて	・いい音を見つけて遊ぼう ・様子を思い浮かべよう(鑑賞)	・みんなで合奏しよう	・のびのび歌おう				
	図画工作	・いっぱいゆめいっぱい	・絵の具を使って ・運動会の旗	・おはなしロボット	・型押し ・型抜き	・ひかりの贈り物	・どんどこんできるよ	・材料の变身	・おしゃれな動物	・カレンダーづくり	・切ってつくろう ・ストローを使ってつくろう。	
	体育	・かけっこ	・表現運動 ・新体力テスト	・リレー遊び ・運動会	・水遊び ・ボール運び	・遊具 ・鉄棒	・シュートゲーム ・跳んで遊ぼう ・跳び箱、マット、平均台	・縄跳び ・輪、棒遊び ・サッカーゲーム				
	特別活動	・学級活動 ・2年生の目標 ・学級目標と係の決定	・給食の食べ方の目標 ・運動会の目標	・雨の日の過ごし方 ・図書室のきまり	・健康な生活 ・夏休みの生活 ・友達	・夏休みの思い出 ・学級の歌	・目を大切に ・おすめの本 ・バスの乗り方	・仲間 ・壁新聞 ・安全な生活 ・教室の整頓 ・冬休みの生活 ・お楽しみ会	・新年の目標 ・風邪の予防	・災害について ・男女の体	・学級を振り返って ・お別れ会	
道徳	・2年生になった ・わたしの自慢大会	・くつ動物たちが泣いていて	・物の置き場所 ・千kmの旅	・お母さん ・落ちた子燕	・あなたはすてきな ・おれたミラー	・これでもいいのかな ・困ったさんを捜せ	・ごめんない ・空からのプレゼント ・はんぶんこ	・学校のまわりには ・かさ ・世界どこかで	・けんかになったら ・世界の約束	・ハムスターの赤ちゃん ・クラスの約束	・あいさつ ・おつかいマン	

所属学級の年間指導計画（進度表）を転記します。あるいは、既存の計画を添付したり差し込んだりする方法も考えられます。その際、特に配慮や支援が必要となる教科や単元、学校行事等に網掛けをしておくといでしょう。

そ の 他	<p>◎所属学級の年間指導計画に基づいて指導する。</p> <p>◎国語と書写のうち週2時間の通級指導を行う。 (状況を見ながら校内委員会で時間数等を検討する。)</p> <p>◎担任と通級指導教室担当者と連絡を密に取り合い、通級指導の内容を調整する。</p> <p>◎通級指導教室で有効であった支援の方法を担任及び授業担当者と共有する。</p>		
	<table border="0"> <tr> <td> <p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・運動会の種目の練習 <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足し算と引き算の文章題 ・片仮名の練習 </td> <td> <p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本による物語の理解 ・調理活動 <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い文章を読む。 ・発表の練習 </td> <td> <p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合奏 ・ゲーム <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り ・合奏のパート練習 </td> </tr> </table> <p><運動会、校外学習などの行事前に実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の見通し(絵カードやスケジュール表を使っての予告) ・友達へのかかわり方(具体的な場面を想定しての、言葉遣い等の対応のロールプレイ) ・教師の指示を聞き、行動する練習 	<p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・運動会の種目の練習 <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足し算と引き算の文章題 ・片仮名の練習 	<p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本による物語の理解 ・調理活動 <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い文章を読む。 ・発表の練習
<p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・運動会の種目の練習 <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足し算と引き算の文章題 ・片仮名の練習 	<p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本による物語の理解 ・調理活動 <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い文章を読む。 ・発表の練習 	<p><小グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合奏 ・ゲーム <p><個別></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り ・合奏のパート練習 	

学年・組		2年〇組		氏名		〇〇〇〇		
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録					
			指導の			指導の経過と評価	評価	
			目標	内容	方法			
						検討課題 (次学期に向けて)		
教科 領域 等	自立	<生活面> ・朝、登校したらすぐに鞆を片付ける。	・片付け方の手順を紙に書いて示しておく。確認をして、できていたらほめる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・片付ける途中で、気が散ることが多かった。	・できた回数が増えるように目当てをもたせる。
		<行動面> ・先生の話をよく聞く。 ・友だちとけんかになったらあやまる。	・通級指導を週2時間とり、落ち着ける時間を作る。 ・声かけで注意を促す。 ・相手の気持ちを教師が伝える	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・手元が気になって集中時間が短くなる。教員の話は、後で確認が必要だった。	・席を前にして、個別に注目させることを繰り返す。
	国語	・先生や友だちの話をよく聞く。 ・文章を読んで内容が理解できるようにする。	・集中しやすいよう席を前にして、個別に声をかける。 ・通級指導で、声を合わせて音読を行う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・常に何かを触っており、集中して聞くことが難しい。 ・気をつければ丁寧に書けるが、むらが多い。	・声かけで集中させる。指示を短く分かりやすくする。視覚的な支援を心がける。
	算数 ・数	・大きな数を数えることができ、位取りがわかる。 ・足し算、引き算のやり方が分かる。	・週2時間の通級指導で、個別の指導をし、理解の遅いところをフォローする。 ・ノートの書き方を、具体的に示して計算ミスを防ぐ。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・初めての学習(大きい数)は、分かりやすい指示の繰り返しで、理解できた。 ・終わりが分かると意欲的に取り組める。	・話を集中して聞けないので、視覚的な指示が必要。 ・課題の量を調節して、集中力を持続させる。
	音楽	・みんなと一緒に最後まで歌う。 ・鍵盤ハーモニカで簡単な曲のメロディーを吹く。	・みんなと一緒に活動できたらほめる。 ・練習の回数を決めて、目当てを持って取り組む。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・みんなと一緒に歌ったり、演奏したり、むらがあるが楽しく活動できた。	・鍵盤ハーモニカの練習は苦手なので2学期は音楽会に向けスモールステップで取り組む。
	図画 工作	・楽しく絵を描いたり、工作をしたりする。	・視覚による課題提示、分かりやすいことばでの説明を行う。 ・できないで困っている様子が見られたら、声かけをしたり、手伝ったりする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・工作では材料をたくさんもってきて、意欲はあるが、どう作成したらよいのか困っていた。	・イメージを形にするための力が十分でないので、今後も支援が必要である。
	体育	・並んだとき、友だちに働きかけない。 ・友だちと仲良くゲームをする。	・並ぶことができたなら、しっかり称賛する。 ・仲良くゲームができたなら称賛する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・列に並ぶことは難しかった。 ・自分で決めたルールで進めようとしていた。	・並ぶ位置を常に確認し意識づける。 ・運動会の練習では個別の支援で並ぶ場所を示す。
	特別 活動	・当番や係の仕事をお忘れずにやる。	・いつ、何を、どのようにやるのか分かりやすくするとともに、仕事を忘れずに果たしたら称賛する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・朝の会の司会はよくできた。友だちをよく非難するのが気になる。	・人のできていないことが気になるので、よいことに目を向けさせたい。
	生活 習慣	・姿勢良く過ごす。 ・休み時間にトイレに行く。	・個別の声かけ、全員への指示で、クラス全員に働きかけることを繰り返す。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・姿勢をよくするのは難しい。 ・朝、授業が始まってトイレに行くことがよくあった。	・姿勢の指導は、絶えず必要。 ・トイレの指導の継続。何が原因かも考える。
	対 人 関 係	・遊び時間、外にでて遊ぶ。	・全員遊びで、みんなと仲良く遊ぶ時間をつくる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・全員遊びでは、トラブルが多かった。	・トラブルが起こらない遊び方をクラス全体で考える。

学年・組		2年〇組	氏名	〇〇		
教科等	学期の指導目標	指導				
		指導内容・指導方法・手だて等	指導の			
			目標	内容	方法	
教 科 領 域 等	自立生活	<生活面> ・朝、登校したらすぐ鞆の片付けをする。 ・集中して着替える。	・確認をして、できていたらほめる。 ・運動会の練習で着替えることが多いので、適宜手伝う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
		<行動面> ・先生の話をよく聞く。 ・友だちとけんかになったらあやまる。	・通級指導を週2時間とり、落ち着ける時間を作る。 ・声かけで注意を促す。 ・相手の気持ちを教師が伝える	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	国語	・先生や友だちの話をよく聞くようにする。 ・文章を読んで内容が理解できるようにする。	・集中しやすいよう席を前にして、個別に声をかける。 ・通級指導で、重要な単語に目を向けさせ、簡単な文の読み取りを行う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
		算数	・3桁の加減の計算ができる。 ・かけ算の意味がわかる。九九を覚える。	・週2時間の通級指導で、個別の指導をし、理解の遅いところを支援する。 ・かけ算カードを見たり、口で唱えたり、いろいろな方法を使って覚える。	4 3 2 1	4 3 2 1
	音楽		・みんなと一緒に最後まで歌う。 ・鍵盤ハーモニカで簡単な曲のメロディーを吹く。	・みんなと一緒に楽しく歌っている時は、ほめる。 ・鍵盤ハーモニカの練習では、スモールステップの計画をたて少しずつすすめる。	4 3 2 1	4 3 2 1
		図画工作	・楽しく絵を描いたり工作をしたりする。	・視覚による提示を加え、ことばでの説明を補う。 ・できないで困っている様子が見えたら、声かけをしたり、手伝ったりする。	4 3 2 1	4 3 2 1
	体育		・並んだとき、友だちにちょっかいを出さない。 ・友だちと仲良くゲームをする。	・運動会の練習では、並び方が混乱すると思うので、位置や順番を周りの子にも手伝ってもらって忘れないようにする。 ・ルールをみんながよく確かめて始める。	4 3 2 1	4 3 2 1
		特別活動	・当番、係の仕事を忘れないでする。	・いつ、何を、どのようにやるのか分かりやすく示し、できたらほめる。	4 3 2 1	4 3 2 1
	生活習慣 対 人 関 係		基本的 ・姿勢良く過ごす。 ・休み時間にトイレに行く。	・個別の声かけ、全員への指示を繰り返し、姿勢に気をつける気持ちを待たせる。	4 3 2 1	4 3 2 1
			・遊び時間、外にでて遊ぶ。	・あまり外で遊ばなくなってきたので声をかけて遊ぶように促す。 ・時々遊んでいる様子を見る。	4 3 2 1	4 3 2 1

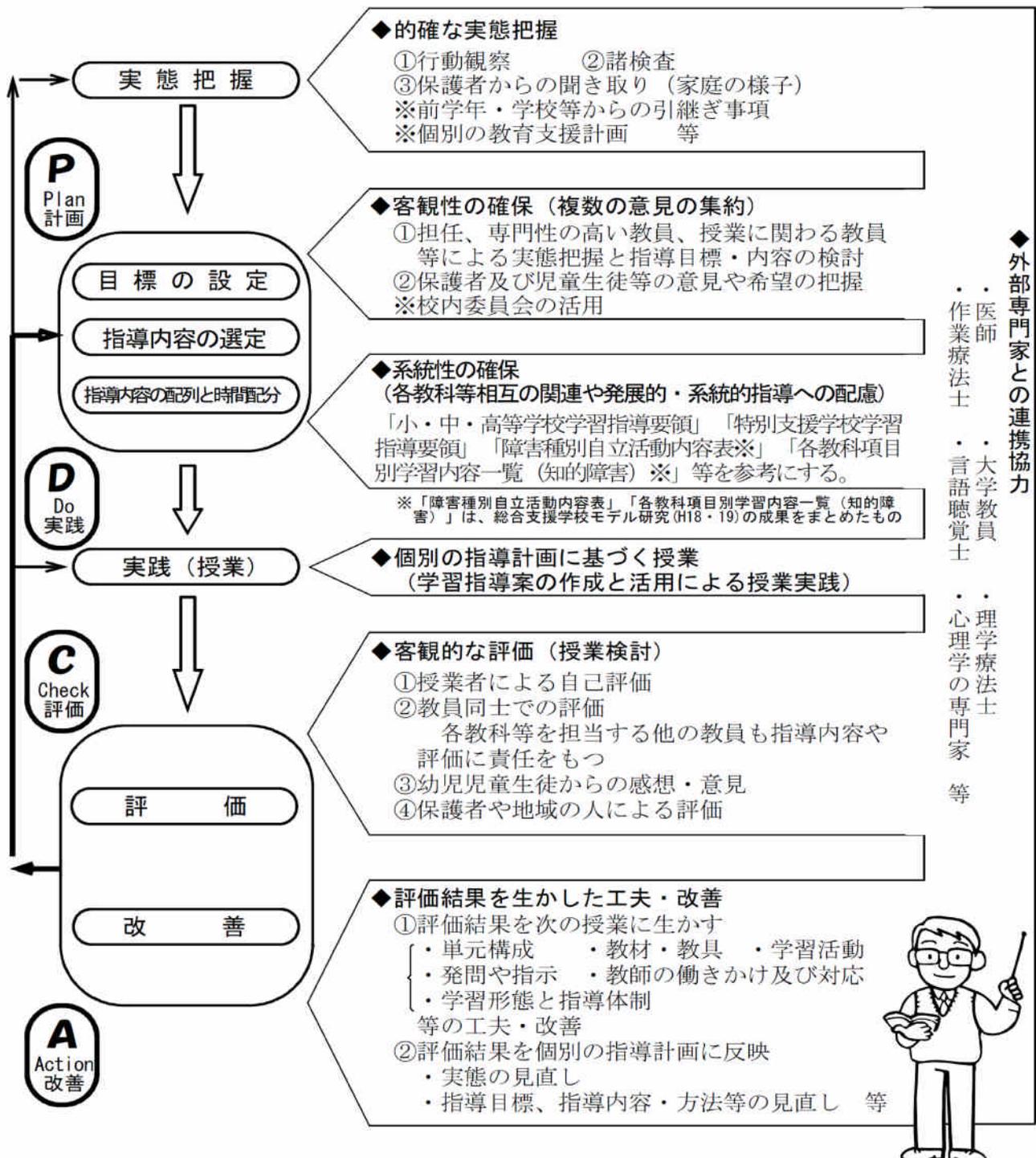


<参考①> 「個別の指導計画」作成のメリットと活用の流れ

「個別の指導計画」を作成することで、以下のようなメリットが考えられます。

- 幼児児童生徒の全体像を的確に把握することができます。
- 指導の方向性や評価の視点が明確になります。
- 教職員間で情報の共有を図り、一貫した指導や支援を行うことができます。
- 保護者の方に、学校における指導や支援の内容や方法を明確に伝えることができます。
- 教職員の実践力の向上につながります。
- 校内委員会や事例検討の際の資料になります。
- 次年度への引継ぎの資料になります。

「個別の指導計画」の作成と活用の流れは、おおよそ次の図のとおりです。



「個別の指導計画」記入例 8

- ◆「文字の読み書きや文章題が苦手で、感じたことをそのまま発言するため一人でいることが多い」小学校3年生の記入例です。
- ◆通級指導教室で指導を受けています。
- ◆学級担任と通級指導担当者が一緒に記入しています。
- ◆様式1は、通級指導教室の主な指導内容（自立活動）と、特に支援や配慮が必要な「国語」「算数」について記入しています。
- ◆様式2は、通級指導教室における自立活動と、「国語」「算数」の内容を補充するための指導について記入しています。

学年・組	3年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①基本的な学習態度を身に付ける。 ②感情のコントロールとコミュニケーションの取り方を学ぶ。 ③集団活動に慣れる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①授業中に、やりたことをやめて次の課題に移ることができる。 ②思い通りにならないときに、自分からクールダウンを求めることができる。 ③遊びやゲームのルールを理解し、友達と活動できる。
---------------------------	--	---------------------------	---

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの切り換えが早く、遊びや学習のルールを守れなくなってしまうことが多い。 ・勝ち負けにこだわり過ぎて、ゲーム等に負けると怒ったり落ち込んだりしてしまう。 ・乗り物の絵が大好きで、特に車に関しては、種類やナンバーなどをすぐに覚えて、絵にしたり描いたりすることができる。 ・他の児童に負けることが気になり過ぎて、自信のないことを避けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム等のルールを理解し、意欲的に参加することができる。 ・自分や他の児童のよい面に気づくことができる。 ・得意な課題について成功経験を重ね、意欲をもって取り組める活動を増やす。 ・自信がもてない課題にも見通しをもって取り組もうとすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の読み書きに困難がある。 ・平仮名よりも片仮名やローマ字を書くことを好む。 ・曖昧な言葉やたくさんの言葉に対して戸惑ってしまう。 ・相手の気持ちを理解することが苦手で、一方的な会話となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年の漢字を確実に読むことができる。 ・平仮名を確実に、丁寧に書くことができる。 ・話題にそって聞いたり話したりすることができる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのない計算を行うことができる。 ・単純な計算は速くできるが、実生活で生かすことが難しいようである。 ・文章題に苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのある計算を確実に行うことができる。 ・文章題の意味を読み取ることができる。
対人関係 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と話そうとせず、一人であることが多い。 ・感じたことをそのまま友達に言って、トラブルになることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、得意なことを自信をもって話すことができる。 ・場に応じた適切な言葉を遣うことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・賑やかな音や人が大勢集まる場所が苦手である。 ・決まったやり方でないと落ち着かず、不安定になる。 ・好奇心が旺盛で、夢中になるとやめられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足、運動会、学習発表会等、全校的な行事に可能な範囲で参加することができる。 ・行動や考えを自分で切り替えることができる。
その他	<p><学級の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本児を特別扱いしているという声がある。 ・周囲の児童への理解啓発が必要である。 	<p><学級運営上の配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に他の児童への働きかけも丁寧にする。 ・本児だけを責める状況にならないよう、トラブルが起きやすい場面を想定し、どのように行動したらよいか、学級全体で考えさせる。 ・まわりの児童には、本児が騒いだり怒ったりしたときに、一緒になって騒がない、必要以上に注意しないなどの協力を求める。

学年・組		3年〇組			氏名		〇〇〇〇						
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教 科 ・ 動 ・ 領 域 等	自 立 教 活 科 ・ 動 ・ 領 域 等	<個別指導>											
		【言語能力の向上】											
		文の記憶	→								文の構成	→	
		しりとり	→				3ヒントゲーム	→				絵の説明	→
		【視覚-運動の協応】											
		トランプ	→				フラッシュカード	→					
		【見通し、課題の遂行、手指の巧緻性】											
		ペットボトルのビー玉落とし	→				紙工作	→				木工工作	→

		<小集団指導>											
【状況の理解、表現力の向上、課題の遂行】													
予定の板書	→												
個別課題の発表	→												
昨日の出来事	→												
【集団参加の意欲、ルール理解】													
どうして?どうなる?	→				買い物遊び	→				こんなときどうする?	→	劇遊び	→
質問遊び	→										言葉のサーキット	→	
【指示理解、役割の遂行】													
活動の準備、片付け	→												
給食の配膳	→												
掃除(雑巾がけ、ほうき、掃除機)	→												
語	つづけて	ありの行	様子を伝	本と友だ	話し合	想像しな	たべもの	説明書を	名前をつ	漢字と友	もちもち		
	みよう	列	える	ちになろ	い、発表	がら読む	はかせに	作ろう	けよう	だち	の木		
	きつつき		くわしく	う	へんとつ		なろう						
	の商売	国語辞典	する言葉	くり	ローマ字	送りがな	るた	さがしに					
	下学年の漢字ドリル	→											
教科書の音読・書き写し	→												
短文作り	→												
算 数	九九作り	4桁のた	かけ算と	表とグラ	かさ	円と球	大きな数	あまりの	2桁のか	重さ	そろばん		
	ゲーム	し算とひ	ひっ算	フ				あるわり	け算				
		き算						算					
たし算と	計算の仕	時間と時	長さ	わり算	形	三角形	テープ作	3桁×2	直方体と	復習			
ひき算	方	刻					り	桁のかけ	立方体				
								算					
計算や文章題のドリル	→												
その他	※生活面の課題については、在籍学級と連携し、すべての学習活動を含め、学校生活全体で指導する。												

学年・組		3年〇組		氏名		〇〇〇〇		
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録					
			指導の			指導の経過と評価	評価	
			目標	内容	方法			
科 領域 等	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> トランプや質問遊びに参加することができる。 ゲーム中に、友達からのアドバイスに耳を傾けることができる。 好きな車について友達の前で話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ルール一覧表を事前に確認するとともに、教員が入ってその都度ルールを説明する。 ゲームが一度終わるごとに、感想などを聞く時間を設定し、言いたいことを教員が補い児童間の仲立ちをする。 事前に車の車種、好きな理由を教師と一緒に考え、話をする練習をする。 週1時間通級指導教室で行う。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ゲームは最初見ているだけだったが、少しずつ遊べるようになってきた。 特定の友達のアドバイスを聞き入れることがあったが、勝負に負けると怒って聞き入れなかった。 車の運転をする人になりたいことを自分から話していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が入らずに児童だけでゲームをさせてみたい。 友達へのアドバイスを考えさせるようにしたい。 車を題材に紙工作に取り組みさせるようにする。
	国語	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名を確実に書くことができる。 2年の1～2学期の漢字を確実に読むことができる。 5W1Hに気をつけながら話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定着のための、10分間のミニドリルを用意する。 単独、文中、意味を交えてのワークシートを用意する。 昨日の出来事など、身近で最近の体験を題材にする。 週1時間(算数と合わせて)通級指導教室で行い、教室ではT、Tで支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 8割を確実に書くことができるようになった。 意味や使い方を考えながら取り組むことがあった。 十分ではないが、体験したことは大まかに話げできた。 	<ul style="list-style-type: none"> マスの大きさを工夫して、きれいに書けるように促したい。 漢字を用いた短文作りに取り組みさせたい。 カードにして組み合わせるようにさせたい。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 二桁の繰り上がりのある計算を確実に行うことができる。 教師と一緒に文章題を読みながら解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算ドリルを基礎に、文章題の読みは教員が確認しながら行う。 答え方の例を示したり、答えを導くまでの過程を振り返る時間を確保する。 週1時間(算数と合わせて)通級指導教室で行い、教室ではT、Tで支援する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いていれば正確にできるが、友達よりも早く解こうとして間違えることもあった。 簡単な文章題については意味を考えるようになったが、思い込みによる間違えも見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 早く解くことよりも確実にを行うことが大切なことを伝えながら課題を継続し、自信をもたせる。 文章題を図に表す活動を取り入れ、問題の解き方を教師と一緒に考えさせる。
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 教員や友達に対して失礼なことを言わないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員がその場でより適切な言い方のモデルを見せる。 通級指導教室で、対一、少人数で会話ややり取りを学ぶ活動に取り組む。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 教室では興奮することもあるが、自分の気持ちを言葉にして謝ることもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> トラブルを題材にして、どう対応すればよいか話し合う。
面	集団参加	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の全体練習に参加することができる。 タイマーが鳴ったら自分から次の行動に移ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 演技の流れを図で示し見通しもたせるとともに、並び方やグループ編制を配慮する。 本児と事前に約束をする。(あと何分で終わりにするか等) 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> なかなかみんなと一緒に行動できなかったが、好きな音楽がかかると身体を動かして楽しんでいた。 約束したことは守ろうと努力していた。 	<ul style="list-style-type: none"> サーキット運動や持久走の練習にBGMを使うことを検討したい。 約束を守ることができたときはしっかり称賛したい。

「個別の指導計画」記入例 9

- ◆「文章題や細かな作業が苦手で、自分の順番を待つことが難しい」小学校4年生の記入例です。
- ◆通級指導教室で指導を受けています。
- ◆様式1～3に学級担任が必要となる配慮事項等を記入し、通級指導担当者が作成した通級指導用の指導計画を合わせてとじ込んでいます。
※作成時及び作成後も、学級担任と通級指導担当者が記載内容の検討や共通理解を図っています。
- ◆様式1は、特に支援や配慮が必要な教科について記入しています。
※自立活動及び「国語」「算数」の内容を補充するための指導については、通級指導用の指導計画に記入しています。
- ◆様式2は、「その他」に、各教科等に共通の支援について記入しています。
- ◆様式3は、特に支援や配慮が必要な教科について記入しています。
※自立活動及び「国語」「算数」の内容を補充するための指導については、通級指導用の指導計画に記入しています。

学年・組	4年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

個別の教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①その場面で必要な学習活動に、見通しをもって取り組むことができる。 ②状況や場面、相手の気持ちに配慮した言動を身に付ける。	個別の教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①教室で着席して活動に取り組むことができる。 ②友達とかかわる際のルールを理解する。
------------------------------	--	------------------------------	---

教科等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標
国語 算数 理科 領域 図工 等 授業参加	・話したいことはたくさんあり、よく話す、筋道を立てて話すことが苦手である。 ・聞く力は良好だが、教科書を読むときに一字ずつ読んでしまう。	・自分の言いたいことを分かりやすく伝えることができる。 ・教科書の文章を、まとまりをもって読むことができる。
	・学年相応の計算問題はできるが、文章題では、内容の理解が不十分なため、解くことが難しい。 ・加減法の計算はほぼ確実にできるが、小数点以下の計算が難しい。	・乗法や除法の文章題を式を立てて解答することができる。 ・整数、小数、分数の概念を理解し、簡単な加法や減法の計算をすることができる。
	・実験観察のような、実体験を伴う学習に意欲的である。 ・実験を一人でやり遂げたいという気持ちが強く、実験の手順や役割分担を守ることが難しい。	・実験器具の正しい使い方を理解し、ペアや小グループでの実験に参加する。 ・実験結果をもとに、自然の事物・現象について実感を持った理解を図る。
	・絵を描くことに興味を示すが、ペンや筆の細かい動きが難しいため、途中で作業が途切れてしまうことがある。 ・様々な形から目的の図形を探し出したり、見本と同じように模写することが苦手である。	・手指の巧緻性の向上を図るとともに、形を正確に捉えることができる。 ・見通しをもって制作活動に取り組むことができる。
	・好きな事に対する意欲はあるが、自信がもてず、課題にうまく取り組めないことがある。 ・読んだり書いたりする活動に難しさがあり、取り組みに時間を要する。	・教室で学習に15分間取り組むことができる。
	人間関係 生活 集団参加	・人なつっこく、だれにでも親しく話しかけることができる。 ・特定の友達と仲良くしたい気持ちが強く、一方的にかかわろうとするため、トラブルになってしまうことがある。 ・自分がしたいと思ったことは、すぐに取り組もうとするなど、非常に意欲的で、順番を待つことが難しい。
その他		

学年・組		4年〇組			氏名		〇〇〇〇				
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教 科 領 域 等	国語	こわれた千の楽器	漢字辞典の使い方 みんなに知らせよう お礼の手紙 主語と述語	ヤドカリとインギンチャク 漢字の読み方	夏のおすれもの 自分新聞づくり	くらしの百科 ローマ字1	世界一美しいぼくの村 心の目を開いて	ウミガメの浜を守る 文と文をつなぐ言葉	活動報告を書こう 中の和と洋	くらしのね 漢字を正しく使う	1年間の思い出を伝えよう ローマ字2
	算数	大きい数 円と球	割り算 暗算	おおよそ の数 折れ線グラフ	数の変化 1学期の復習	小数	三角形	割り算	式と計算 整理の方法 2学期の復習	角と角度 分数	面積 4年のまとめ
	理科	春の生物 や植物 1日の気温変化と天気	空気と水 電気のはたらき	電気のはたらき 夏のお空	夏の生物 や植物 夏のお空	月と星の動き	秋の生物 と植物 水の三つの姿	ものの力 サと温度	人体の体のつくりと運動	冬の星の動き 金属のあたたまりかた	冬の生物 の様子 もうすぐ春
図工	身近な材料を使って 絵の具遊びから	たのしいなかま (のこぎり、とんかち、角材を使って)	ひみつの話(絵)	美術鑑賞教室 よくみてかこう あかりとゆめ (ランプ、ペットボトルを使って)				さわりごごちも、いい感じ(カラージュ)	ほってうつして (彫刻刀、版表現)	たのしいなかま (平材の組合せ)	
通級指導	<p style="text-align: center;">通級指導教室(〇〇市立〇〇小学校■■教室)の個別の指導計画を参照</p> <p>〇担任は、電話連絡・訪問・来校等の方法で、通級指導教室担当者と定期的に、あるいは必要に応じて情報を交換・共有し、連携して指導や支援を進める。</p>										
学校行事	入学式 始業式 避難訓練	運動会 防犯訓練	みどりの学校 プール開き 図書館祭り	水泳指導 終業式	始業式 夏休み作 品展 避難訓練 ふれあい 遊学塾		校内音楽 会	文化祭 作品展 持久走大 会 終業式	始業式 書き初め 展 福祉実践 教室	芸術鑑賞 会	感謝の会 卒業式 修了式
その他	<p><在籍学級での支援></p> <p>〇1日の開始時(朝の時間)に時刻を含む予定を知らせる。また、必要に応じて復唱させ、書かせて確認する。</p> <p>〇必ず取り組ませたいことの指示は、教員が視野の中に入り、注意を向けさせてから話す。</p> <p>〇自由に好きなことだけをする事ができないときは、終了のタイミングを始める前に知らせる。突然好きなことを中断しなければならないときは、次にいつできるかを伝える。</p> <p>〇道徳や特別活動、行事等の場面で、互いの気持ちや立場を理解することの大切さを指導する。</p> <p>〇家庭と協力し、教科学習の予習に取り組む。(具体的な課題を負担にならない分量で提示する。)</p>										

学年・組		4年〇組	氏名	〇〇〇〇			
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の			指導の経過と評価	評価
			目標	内容	方法		
国語 算数 理科 領域 等工 授業 参加	・「こわれた千の楽器」「ヤドカリとインゲンチャク」「夏のわすれもの」の本文をまとまりをもって読むことができる。	・事前に読むところを伝え、家庭でも練習するように促す。 ・電子黒板を利用して視覚的な支援を行う。 ※文字の拡大、音読部分の着色 ※分かち書き、漢字にルビ	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・教室で教科書を読むときも自信をもって読めるようになった。 ・徐々にまとまりをもって読めるようになってきた。	・今後は、電子黒板やワークシートで、「いつ」「だれが」「どこで」「どうした」等の疑問詞を示し、筋道を立てて話すことを支援する。
	・48÷3の仕方を図や式を使って説明することができる。	・教員が文章題を読み上げてから取り組むようにさせる。 ・電子黒板を活用して、文章の要点や鍵になる言葉に印をつけたり、文章のポイントを絵や図にして示したりする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・簡単な文章題では自分で図示し、解答できる問題も増えてきた。 ・長い文章の問題や複雑な内容の文章題では難しい。	・文章題の内容をできるだけ、経験した場面や興味のある題材にして、多くの文章題に取り組ませる。 ・宿題やプリントにも要点に印をつける。
	・「乾電池のつながりと電流の強さ」の実験で、友達と一緒に実験を行うことができる。	・グループごとに実験の手順と役割の流れ図にしてから実験に取り組ませる。 ※電池を用意する・つなぐ ※検流計を見る・記録する ・やりたいことがあるときには手を挙げたり、カードを提示したりするなどの方法を本児と一緒に考える。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・仲のよい友達の間では、順番を守ったり、分担された役割を果たすことができた。 ・実験が終わると満足し、その後の考察には消極的だった。	・徐々にいろいろなメンバーと実験させることにより、学級内での人間関係を広げていきたい。 ・実験経過をビデオで撮影し、電子黒板に投影することで興味関心を喚起させる。
	・三角と四角を弁別することができる。	・具体物(角材)を使って実際に分類させる。 ・形を弁別するための手がかりとして、言葉で図形の特徴を説明する。 ・図形を描くときには厳密さを求めないようにする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・三角と四角の具体物の弁別はほぼできた。 ・模写については苦手意識があり、作業が中断することがあった。	・引き続き具体物の操作を取り入れる。 ・友達とペアで相互に相談し、教え合いながら学習を進め、苦手意識の軽減を図りたい。
	・ワークシートに15分間程度取り組むことができる。	・個別の課題を用意する。 ・自分で選択できるように複数の課題(ワークシート)を準備する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・得意な内容を入れることで10分間課題に取り組むことができた。 ・ワークシートを使う場合、個別に説明すれば、取り組むことができた。	・得意な内容を多くしたり、問題数を減らしたりする。 ・作業手順(解き方)を分かりやすく記載したワークシートにより、できるだけ一人で取り組ませる。
	・休み時間や話し合い活動で会話に参加することができる。	・「今いい?」「ちょっと。」など声かけの具体的な方法を提示する。 ・話し合い活動のルールを決めて、学級全体で確認しておく。 ※手を挙げてから話す。 ※〇分以内で話す。等	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・自ら声かけをして友達に話しかけることが増えてきた。 ・話し合い活動で突然話し始めることは減ったが、一人で一方的に長時間話すことがあった。	・声かけのレパトリーを増やすようにする。 ・タイムタイマーやチャイムを使って発言の終わりを意識させる。(学級全体の了解を得る。)
・運動会するとき、待機場所で順番を待つことができる。	・自分の出番がいつ頃になるか書いて示す。 ・待てなくなったとき「救護所(あるいはトイレ)に行きます。」と席を立ち、気分転換できるようにする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・運動会では、10分前に待機場所に行き、出番を待つことができた。 ・終業式では、許可を得て、その場を一度離れることで、30分間着席して待つことができた。	・学校行事の参加のルールを授業においても活かせるか検討する。 ・気分転換の場所を近くにしたり、離席する時間を短くしたりして、参加できた達成感をもたせる。	

児 童 名	〇 〇 〇 〇	学校・学年	△△△小学校 4年
長 期 の 目 標 (1年間)	①人との適切な関わり方を理解することができる。 ②文章の音読や漢字の読み書きができる。 ③算数の基礎的な内容を理解することができる。		
指 導 期 間	平成〇〇年〇月 ～ 平成〇〇年〇月		
週 時 数	週2時間		
指 導 形 態	個別指導・グループ指導		

前期の指導目標	指導内容・指導方法・手立て等	評 価
①少人数の活動に落ち着いて参加することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や家庭での様子や困ったことを聞き取り、適切な行動について話し合う。 ・グループ指導を行い、友達への適切な言動を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員と一緒に学校や家庭での出来事を振り返り、話し合うことで、いろいろな問題を解決しようと考えようになった。 ・学級で困ったことがあると、通級指導教室に来て相談をするようになった。 ・グループ指導の場では、友達に対して強い態度で接することがなくなり、穏やかにかかわることができた。
②文章の音読に慣れ、決められたいくつかの漢字を覚える。	<ul style="list-style-type: none"> ・行間、ふりがな、分かち書き、文字の大きさを工夫して、教科書の本文を分かりやすい表現に置き換えた教材を作成する。 ・漢字九九を使い、意味づけをして漢字を練習する。 ・学級で使うワークシートについては、書き方を教え、援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した教材を使った「こわれた千の楽器」「ヤドカリとイソギンチャク」「夏のわすれもの」の音読練習では、読む量を加減することで、集中して取り組むことができ、上達した。 ・漢字九九を使って漢字練習に取り組み各単元で10ずつの漢字を覚えることができ、自信をもつことができた。
③図形や小数の内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の重要な語句をヒントカードに書いて示す。 ・小数の大きさをカードで示し、具体的な操作を通して内容を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分度器を使って角度を測る学習では、手順を覚えて、正しく測ることができた。 ・180度より大きい角度を作図するときは援助が必要だが、何度も取り組むなど意欲的だった。 ・小数では、1より小さい数やその位の意味を理解することに時間を要したが、カードで図示することで徐々に理解することができた。 ・計算には自信をもって取り組んだ。

<参考②> 実態把握のポイント

適切な指導や支援を行うためには、的確な実態把握が重要です。

<実態把握のための情報等>

□ 行動観察・行動記録

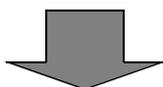
- ・ 幼児児童生徒の日々の姿から、児童生徒の興味・関心、既習内容と変容を把握

□ 諸検査

- ・ 幼児児童生徒の発達段階や学習のレディネスを把握

□ 保護者の方等からの情報

- ・ 児童生徒や保護者の方の思い、関係機関等からの情報等により教育的ニーズを把握



<情報を整理する視点>

□ 幼児児童生徒が示す困難の状況

- ・ 学習面
困難が見られる教科や領域、困難を示す学習課題等
- ・ 行動面
気がかりな行動の様子と、その行動が起こるきっかけとなる状況、教職員の対応への反応等
- ・ 社会面
集団での活動や友達とのかかわりの様子等

□ 幼児児童生徒の長所等

- ・ 興味関心のあること
- ・ よいところ
- ・ 得意なこと

□ 幼児児童生徒の困難の要因や背景

- ・ 幼児児童生徒自身の特性、学校や家庭の環境面、諸検査の結果を踏まえた検討



<的確な実態把握のための工夫>

□ 校内委員会等の活用

- ・ 実態把握の内容や方法の検討と、全教職員での共通理解
- ・ 担任だけでなく、校内コーディネーターや特別支援学級担任、教育相談、生徒指導、養護教諭等を含めたメンバーによる実態把握

□ 実態把握のための研修の実施

- ・ 行動観察の観点について
- ・ 諸検査の方法と結果の解釈について
- ・ 保護者の方や外部の専門家、関係機関等との連携の実際について

実態把握の充実については、「支援をつなぐー研修編ー」（平成21年3月、山口県教育委員会）を参考にしたり、必要に応じて、地域コーディネーターやふれあい教育センターに相談したりすることができます。



「個別の指導計画」記入例10

- ◆特別支援学級に在籍する小学校2年生の記入例です。
- ◆交流学級と一緒に学習している教科については、交流学級の年間指導計画を参照するようにしています。

学年・組	2年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①身なりに関心を持つことができる。 ②学習や活動への意欲をもつことができる。 ③自発的に自分の意思を伝えることができる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①ボタンがとまっているか、上着がズボンの中に入っているかを気にかけることができる。 ②苦手な書く学習で、好きな題材に積極的に取り組むことができる。 ③調理などの楽しい活動を通して、友達に言葉で要求を伝えることができる。
---------------------------	--	---------------------------	---

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標	
教 科 領 域 等	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 調子が良いときは、元気なあいさつができる。 他のことが気になり、道具の片づけが中断することがある。 一人で着替えようとする気持ちが強いが、手先の不器用さからあせってしまい、途中であきらめてしまう。 トイレの使い方や手洗いが上手にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつの仕方やタイミングを教え、あいさつができるようになる。 手順カードを見て、朝の片づけができる。 着替えコーナーで、自分で着替えをすることができる。
	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 屋内での作業を好む。 野菜の成長を見るのが好きで、丁寧に収穫しようとする。 料理に興味をもっている。 人とのコミュニケーションにぎこちなさを感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 決められた作業に一定時間取り組むことができる。 友達といっしょに料理を楽しむことができる。 活動を通して、コミュニケーションの方法を理解する。 社会生活のいろいろなルールを理解する。
	国語	<ul style="list-style-type: none"> よく見るように促すと、3文字以上の単語を読むことができる。 平仮名を書くことに興味を示すが、文字の形を整えて書くことが難しい。 興味のある内容であれば、10分程度集中して聞くことができる。 親しい人との会話を喜び、短い文や単語で応じることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の単語を読むことができる。 生活場面でよく使う漢字を読むことができる。 平仮名が正確に書ける。 自分の名前の形を整えて書くことができる。 本の読み聞かせを最後まで聞き、短い感想が言える。 3語文以上の文を使って話ができる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 数字を読むことができるが、計算は苦手である。 数の多少を数字で記憶している。 ○△□を描くことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 10までの数の合成分解ができる。 30までの数の読み書きができる。 100円までの金額がわかる。 基本的な図形の模写ができる。
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの演奏が難しい。 一人で音楽を聞いたり口ずさんだりすることを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の音楽の授業に一人で参加することができる。 簡単な曲をクラリーナで演奏することができる。
	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自由に色を塗ったり、貼ったりすることを好む。 真っ直ぐな線をはさみで切るなど、手を使って細かい作業をすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな題材で造形活動を楽しむことができる。 太い直線に沿って、はさみで真っ直ぐに紙を切ることができる。
	体育	<ul style="list-style-type: none"> 走ることは好きだが、上下や左右の揺れが苦手で、遊具での遊びを怖がる。 縄跳びが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生の援助を受けながら、通常の学級の体育の授業に参加することができる。 苦手な運動にチャレンジすることができる。
	道徳	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で理解する力があり、大人が教えたことは守ろうとする。 学級での決まった仕事は、友達に助けをもらいながら行うことができる。 行事への参加は援助が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の道徳の授業に参加することができる。 自分の長所を言うことができる。 交流学級で係の仕事を行うことができる。 友達の援助を受けて、行事に参加することができる。
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 行事への参加は援助が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の援助を受けて、行事に参加することができる。
	自立活動	<p><生活面></p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持が難しいため、学習や運動が長続きしにくい。 早起きが難しく、家族の車で登校している。 <p><行動面></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉でどのように表現してよいか分からないため、人とかかわりが消極的になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、自力登校できるようになる。 適切な言葉で人と関わることができる。 (要求や応答、質問、他児との相互交渉)

学年・組		2年〇組			氏名		〇〇〇〇				
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 朝の準備(整理整頓、提出物) 朝の会(健康観察、昨日の出来事、一日の予定) あいさつ 係の仕事 手洗い、着替え 帰りの準備 下校(安全な歩行) 										
	<p>活動の計画</p> <p>畑作り 夏野菜の栽培・収穫・販売 → 調理</p> <p>冬野菜の種まき → 収穫 → 販売 → 調理</p> <p>ジャガイモの収穫 → 調理</p> <p>さつまいもの苗植え → 収穫 → 調理</p> <p>こどもの日 宿泊学習 七夕 節分 進級のお祝い</p>										
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前 3～5文字の単語の読み書き 二語文の読み 「ぐりとぐら」 				<ul style="list-style-type: none"> ひらがなの単語の読み書き 三語文の読みと助詞 片仮名のことば 「てぶくる」 				<ul style="list-style-type: none"> 特殊音節の単語の読み書き いろいろな文の読みと助詞 片仮名のことば 「そらいろのたね」 		
域算	<p><数と計算></p> <p>いくつと 足し算 切符を買 買い物 10のま お店やさ お小遣い 双六ゲー ム(どち らが多い)</p> <p>いくつ おう 大きい小 さい とまり ん</p>										
	<p><図形></p> <p>仲間集め 動物パズル 大きい小 さい 同じ色</p> <p>位置・形 位置・形 方向 方向 はめこみ はめこみ パズル パズル</p>										
音楽	鍵盤ハーモニカ				クラリーナ				リトミック		
図画工作	<p>自己紹介カード こいのぼり 絵の具を使って 是さみ・のりを使って 型押し 校外学習の思い出 お楽しみ会の飾り 凧づくり 節分 卒業祝い</p> <p>※交流学級の図工の単元にも可能な範囲で参加する。</p>										
体育	<p>交流学級の年間指導計画参照</p> <p>※交流学級の授業に参加する。(担任が援助し、一人で参加できることを増やしていく。)</p>										
道徳	元気なあいさつ		やさしい言葉		自分の得意と苦手		自分の仕事		いろいろな友だち		大きくなったよ
特別活動	<p>※交流学級の道徳の授業に可能な範囲で参加する。</p> <p>※日常の学校生活のあらゆる場面で、实际的・具体的にくり返し指導する。</p> <p>交流学級の係の仕事を行う。 →</p> <p>学年の行事に参加する。 →</p>										
自立活動	<p>コミュニケーション指導 →</p> <p>調理活動を通して、グループ学習を行う。 →</p> <p>手と目の協応運動の指導 →</p> <p>服の着替えの機会をとらえて、学習する。 →</p>										

学年・組		2年〇組		氏名		〇〇〇〇	
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の			評価	
			目標	内容	方法	指導の経過と評価	検討課題 (次学期に向けて)
日常生活の指導	朝の交通指導をしている校長にあいさつができる。	数メートル手前から「おはよう」を言うことを伝え、構えを持たせる。 できなくても校長に笑顔で声をかけてもらう。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	校長先生に声をかけてもらうことが嬉しくて、言えることが増えた。	教師の促しがなくてもあいさつができる手だてを検討する。
	援助を受けながら朝の片づけができる。	片づけの手順カードを示す。 引き出しに、入れ方の絵を描いて貼っておく。 できたらシールを貼る。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	引き出しの中の絵は有効だった。自分で片づけができるようになった。	荷物が多いときには、手順カードより声かけの方がよい。
	給食着や体操服の着替えの仕方を覚えることができる。	給食着のたたむ位置に糸で目印を付ける。 着替えのコーナーを決める。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	糸の目印とくり返しの練習で、たたみ方を覚えた。 着替えコーナーで、着替えに集中できた。	継続指導により、きれいなたたみ方の習得を目指す。 鏡を見て身だしなみを整えさせる。
生活科	〈栽培・収穫〉 畑の作業を続けて行うことができる。 決められた作業を最後まで行うことができる。	作業のやり方を事前にしっかり教える。 収穫などの楽しみを知らせ、見通しをもたせる。 缶1杯などのように作業量を明確に知らせる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	野菜の収穫を喜び、靴や服の汚れも気にせず作業をした。 友達との共同作業で道具の貸し借りをすることができた。	共同作業の際、教師の援助を少しずつ減らしていく。
	〈販売〉 あいさつや会話をすることになれる。 100円以内のお金の計算ができる。	質問や応答のパターンを教え事前に練習しておく。 計算機やレジ、補助具を使う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	販売する活動に意欲的だった。 何十円に設定した価格を、補助具で確かめることができた。	様々なパターンのやりとりを練習する。
	〈調理〉 調理具の使い方になれる。 調理活動を楽しむ。	作業の手順を写真や絵のカードで示す。 作りたい料理をみんなで話し合っ決めて決める。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	収穫した野菜を使ってカレーライスを作った。皮むきが上達した。	包丁の安全な使い方を練習する。
領域等	〈買い物〉 バスの乗り方を理解する。 安全な歩き方ができるようになる。 メモを見て買い物ができる。	事前に移動の仕方や適切な態度について教えておく。 自分でメモを作る。 透明の財布を使用し、千円を出しておつりをもらう活動をする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	バスの中での態度は落ち着いていた。 教師に聞きながら品物を探し、買うことができた。	校内でのごっこ遊び(模擬体験)を多く設定する。 家庭でも買い物に連れて行ってもらう。
	国語	5文字までの単語の読み書きができる。 1年生配当の漢字を読むことができる。	絵と文字と音を対応させながら、興味のある物の名称を使って練習する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	「さつまいも」などの生活場面によく使う単語は読めた。 食べものの名称を学習に使うことで意欲的に取り組めた。
語	平仮名の名前を2cm角のますに書くことができる。 「や、ふ、を、ね、む、え」が書ける。	漢字九九を言いながら、書く練習をする。 なぞり書きや始点終点のポイントで援助する。 練習する文字を含む動物や食べものの言葉を使う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	漢字を20文字読めるようになった。	「ふ、を」などのいくつかの線を組み合わせた形をなぞり板などでしっかり学習する。
	絵本の読み聞かせを聞いて感想を言う。	起承転結のわかりやすい読み物を選ぶ。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	「11ぴきのねこ」シリーズを気に入って最後まで聞くが、長い話は最後まで聞くことが難しかった。	ペーパーサートや声の変化により興味を喚起する。
	昨日の出来事を文で表現する。	話形を教え、「いつ」「だれ」「どこ」「何をした」が言えるようカードで示す。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	ヒントカードを見ながら、「いつ」「どこ」などを意識して話すようになった。	マイクの使用や録音などで興味を喚起する。

学年・組		2年 〇組	氏名	〇〇〇〇			
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の			評価	
			目標	内容	方法	指導の経過と評価	検討課題 (次学期に向けて)
算	<ul style="list-style-type: none"> 5までの合成分解ができる。 10までの数の大小がわかる。 50円までの金額がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> タイルをつかって、数えながら学習する。 数の多少を高さや長さ等、いろいろな表現で示す。 本物のお金やレジ、計数のための補助具を使う。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 3までの合成分解はできた。 10までの数の大小が理解できた。 補助具を使い、10円玉を数えて金額を言うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 4以上の数の合成分解の確実な理解を図る。 貨幣の等価についての理解が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> 1から9までの数字が書ける。 △と□の形を描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 始点と終点を示し、言葉を添えて援助する。 	4	4	4		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の鑑賞や歌唱の学習に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱の曲を事前に聞かせ、練習しておく。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 歌や音楽を聞くことを好み、30分間参加できた。 ゆっくりだが、正しく演奏できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器への抵抗を少なくして参加できる時間を増やす。 他の楽器にもふれさせたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカで「かえるの歌」が演奏できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜と鍵盤に同じ色の色分けシールを貼る。 	4	4	4		
図画・工芸	<ul style="list-style-type: none"> こいのぼりや七夕飾りを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鋏で切るための補助線の太さを段階的に示す。 糊を付ける場所にしるしをつける。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 太マジックの直線に沿ってはさみで切ることができた。 作業の目標を明確にすると意欲が増す。 材料を扱いやすいように工夫したことで喜んで交流で活動できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助線が細かい場合や曲線に沿って切るためのはさみや補助具の活用を勧める。 交流学級での学習は喜ぶが、学年の教材ではできることが減ってきた。
	<ul style="list-style-type: none"> 3年の教材を作成し学級で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 難しい作業は個別に援助して作成し、できることは必要な準備をして交流で活動させる 	4	4	4		
身体教育	<ul style="list-style-type: none"> 援助を受けながら、交流学級の体育に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 整列の場所をわかりやすく示す。 活動の難易度を下げて参加させる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 友達の援助と交流学級担任が配慮することで参加できた。 滑り台はできるようになったが、アスレチック遊具は難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況を見て活動の難易度を下げることが必要である。 アスレチックをみんなで楽しむ中で遊具にも慣れさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊具を使って登ったり降りたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達に誘ってもらおう。 難しいところは、教師がしっかりと支え、不安をなくす。 	4	4	4		
道徳	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをすることややさしい言葉を使うことの大切さがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な話を使って、価値の内容を伝える。 場面をとらえて指導し、できたことをほめて定着させる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を理解し、日常生活でも素直に聞き入れることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを日常生活の行動に生かすための手だての工夫を検討する。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級でカレンダー係の仕事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> カレンダーをめくり、日付を言う仕事を事前に練習する。 必要に応じて交流学級担任が援助する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 調子の良い日は、みんなの前で日付を言うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、カレンダー係が役に立っていることを伝える。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> 途中から歩いて登校することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ車から降りる場所を遠くする。 はじめは迎えに行き、援助する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 迎えに行くと、気持ちを切り替えて歩くことができた。 徐々に歩く距離が長くなっている。 教師の仲介や支援が必要だが、視線を合わせた要求や交代の申出ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員があまり近くを歩くと嫌がるようになったので、一人で歩くようにさせたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 視線を合わせて要求することができる。 作業交代を友達に申出ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ホットケーキづくりの場面を設定し、要求や交代の仕方を学習する。(詳しい計画は別紙) 	4	4	4		

<参考③> 目標設定のポイント

学年や学級の教育課程や年間指導計画との関連を図りながら、一人ひとりの幼児児童生徒の障害の状態等に応じた目標を設定します。

評価や改善の充実のためには、「具体的」で「達成可能」な目標設定が重要です。

<目標設定のポイント>

□年間指導目標

○優先順位を考えて課題をリストアップします。

・優先順位を考える際の観点

必要性 緊急性 成果への期待 取り組みやすさ 達成の可能性 等

「個別の教育支援計画」を作成している場合は、支援計画の長期目標や重点目標を踏まえるようにします。

また、必要に応じて、幼児児童生徒や保護者の方の思いを踏まえます。



□学期の指導目標

○長期目標を踏まえ、より具体的な目標を設定します。

・目標を設定する際の留意事項

具体的な記述（いつ、どこで、何を、どのように）
スモールステップを意識した記述
評価が可能な記述（条件や基準値等を設定→具体的な評価）

◆抽象的な言葉でとどめず、具体的な姿を想定する。

（例）×「親しむ」「楽しむ」

○「～という親しみ方をする」「～という楽しみ方をする」

◆複数の行動や要素を含めない。

（例）×「好きな物ものを選び、使って楽しむ」

○「～の方法で二つから一つを選ぶ」

◆解釈が多様化する表現でとどめず、目標の範囲や条件を限定する。

（例）×「係の仕事をやりとげる」

○「すべての机を一人で隅々まで拭く」

担任一人ではなく、校内委員会等で、いろいろな立場の教職員で目標の優先順位を考え、具体的な記述を検討していくことで、教職員間の共通理解を図ることができ、全校体制での指導や支援につながります。



「個別の指導計画」記入例11

- ◆特別支援学級に在籍する小学校5年生の記入例です。
- ◆交流学級と一緒に学習している教科については、交流学級の年間指導計画を参照するようにしています。
- ◆様式3は、1学期の評価を受けての2学期の指導目標・指導内容・指導方法を記入しています。

学年・組	5年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

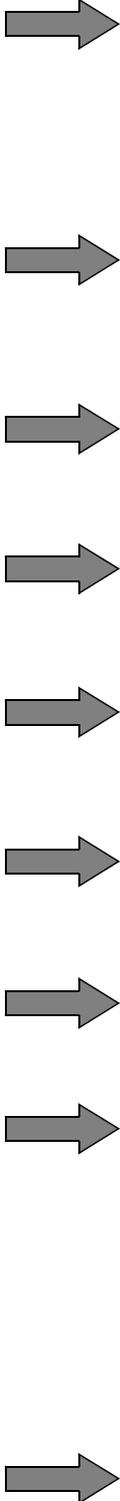
教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①基本的な生活習慣や学力を身に付け、いろいろな活動を体験する。 ②安定した学校生活を送り、人とかかわり方を身につける。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①目と手の使い方の学習をとおして、文字を書くことや計算する力の基礎を習得する。 ②人とかかわりを楽しむ経験をとおして、対人関係に自信をもつことができる。
---------------------------	--	---------------------------	---

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標	
教科領域等	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日歩いて登校できる。 ・帰りは母親の迎えで帰っている。 ・持ち物の片付けができる。 ・日課表の確認ができる。 ・掃除は好きな活動を、自分で決めて毎日行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつけて歩いて登校する。 ・気持ちのよいあいさつをする。 ・交流学級の日課を毎日確認して、連絡帳に書く。 ・掃除は、自分の仕事を時間いっぱいする。
	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> ・調理活動など好きな活動を教員と一緒に計画を立てたり、活動を楽しんだりすることができる。 ・みんなといっしょに行事や校外学習に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理活動では、先生と一緒に計画を立て、手順にそって活動できる。 ・運動会、音楽会、校外学習、宿泊学習などに参加し、それらに向けての準備の活動を先生と一緒に、交流学級の中でする。
	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を書いたり、覚えたりするのを好む。 ・辞書を引くのが好きで、言葉の知識はある。 ・読み取りは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の習得を増やす。 ・日記などの文章で正しい言葉の使い方ができる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の練習は一生懸命取り組む。 ・文章題を読み取ることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習を繰り返し、計算力を伸ばす。 ・文章題は、図示や絵に描いて、様々なパターンに慣れる。
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の計算がスムーズにできない。 ・歌は大きな声でよく歌うことができる。 ・リコーダーの練習もまじめに取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おつりの計算ができるようにする。 ・いろいろな歌を歌い楽しむ。 ・リコーダーの練習を目当てを持って繰り返し、いろいろな曲がふけるようにする。
	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描くことを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく絵を描いたり、工作したり自分の思いを表現して楽しく作品作りに取り組む。
	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすのが好きである。 ・ゲームを理解するまでに、支援がいる。 ・友だちの動きを見て、楽しく運動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの動きをまねて、楽しく運動ができる。
	道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとかかわりができてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの気持ちを考えて行動することができる。
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の進行、号令かけなど、決まったことは確実にできる。 ・委員会活動で、支援員と活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番の仕事をきちんとこなし、自信をもつ。 ・自分の仕事を理解し、一人で仕事ができる。
	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <生活面> ・一日の流れに沿って、生活できる。 <行動面> ・オウム返しのやりとりが少なくなり、会話がつながることが多くなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した気持ちで過ごす。 ・人とのやりとりの場面でその場にあった言葉を使う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・植物や生き物などに興味を示すことができる。 ・家族や周りの人の生活や、地域のことにも興味をもち始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科で自然の観察や実験を支援者と一緒に楽しむ。 ・社会で教科書や資料を見て産業や国土の様子に関心をもつ。 ・家庭科で、衣食住や家族の生活に関心をもつ。 <p>※理科、社会、家庭科は交流学級で学習</p>	

学年・組		5年〇組			氏名		〇〇〇〇					
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
日常生活の指導 生活単元学習 国語 算数 音楽 領域等	朝の会 (あいさつ、日にち、天気、学習の予定、給食の献立、返事、今月の歌、なぞなぞ、スピーチ、運動、ゲーム、リトミック、読み聞かせなど) 終わりの会 (片付け、明日の予定) 身の回りの整理整頓、衣服の着脱、手洗い、トイレの使い方、食事の仕方、歯磨き 当番や係の仕事、掃除の仕方、遊び方 時間やきまり 委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> 春を探そう 遊具で遊ぼう 畑を作ろう 調理活動(ホットケーキ) 	<ul style="list-style-type: none"> お母さんがと公共施設に行こう 花の苗植え 調理活動(お好み焼き) 	<ul style="list-style-type: none"> お父さんがと近隣の交流会 さいつもの苗植え 調理活動(クッキー) 	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び 誕生会 英語活動 調理活動(かき氷) 	<ul style="list-style-type: none"> みんなで作って遊ぼう おじいちゃんおばあちゃんありがとう 調理活動(団子) 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽会 おおいちよバザールの準備 秋を探そう 大根植え 調理活動(スウィートポテト) 	<ul style="list-style-type: none"> 公園で遊ぼう おおいちよバザールのお店を出そう 花の苗植え 調理活動(豚汁とむすび) 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会 クリスマス会 商店街に行こう 大掃除 英語活動 調理活動(クリスマスケーキ) 	<ul style="list-style-type: none"> お正月の遊び 近隣の交流会 調理活動(おでん) 	<ul style="list-style-type: none"> 節分会 調理活動(手巻き寿司) 	<ul style="list-style-type: none"> お別れ会 誕生会 英語活動 調理活動(ポップコーン)
	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞典 だいたいぶだいたいぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ことわざ 読み取り 質問の手紙 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞典の活用 読み取り 動物の体 	<ul style="list-style-type: none"> ことわざ 読み取り ちかい 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文 読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> 伝記 詩 読み取り マザーテレサ 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文 読み取り 森林のおくりもの 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文 読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文 読み取り 注文の多い料理店 	<ul style="list-style-type: none"> 読書 作文 	
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 小数 計算練習 復習 	<ul style="list-style-type: none"> 垂直と平行 計算練習 	<ul style="list-style-type: none"> 小数×整数 小数÷整数 角 計算 	<ul style="list-style-type: none"> 変わり方 決まり 計算練習 	<ul style="list-style-type: none"> 小数×小数 小数÷ 小数練習 	<ul style="list-style-type: none"> 式と計算 面積 計算練習 	<ul style="list-style-type: none"> 計算の見積 分数 計算練習 	<ul style="list-style-type: none"> 同じものに目をつけて 復習 	<ul style="list-style-type: none"> 割合 計算練習 	<ul style="list-style-type: none"> 円周と円の面積 	<ul style="list-style-type: none"> 復習
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ビリーブ こいのぼり 	<ul style="list-style-type: none"> いつでもあつた海はやさしい風に 	<ul style="list-style-type: none"> アジアの国々 アララン 	<ul style="list-style-type: none"> おはやしづくり 子守歌 	<ul style="list-style-type: none"> 美しきロスマリン 渡り鳥と少年 	<ul style="list-style-type: none"> 静かにねむれは それは地球 威風堂々 	<ul style="list-style-type: none"> 秋にさら よなら アイネクライネ ナムムジーク 	<ul style="list-style-type: none"> 冬げし きりま ンジェ ロ 	<ul style="list-style-type: none"> 浜辺の歌 待ちぼうけ 荒城の月 スキーの歌 	<ul style="list-style-type: none"> 夕ぐれ 失われた歌 	<ul style="list-style-type: none"> 大空が迎える朝 朝日をあびて
	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介カード 	<ul style="list-style-type: none"> 母の日によせて 	<ul style="list-style-type: none"> 父の日によせて 	<ul style="list-style-type: none"> 夏大好き 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 	<ul style="list-style-type: none"> 収穫したよ 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽会 	<ul style="list-style-type: none"> 年賀状 	<ul style="list-style-type: none"> 版画 	<ul style="list-style-type: none"> まめまき 雪遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 作品づくり
	体育	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐし マット とび箱 	<ul style="list-style-type: none"> マット とび箱 鉄棒 短距離走 けがの防止 	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び クロール 平泳ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び クロール 平泳ぎ 表現運動 	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐし 表現運動 短距離走 リレー 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒 ベースボール型 跳び箱 走り幅跳び 	<ul style="list-style-type: none"> ベースボール型 体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ゴール型 跳び箱 マット 	<ul style="list-style-type: none"> 体力を高める運動 ネット型 心の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ネット型 体力を高める運動 ゴール型 心の健康 	<ul style="list-style-type: none"> ゴール型 体力を高める運動
	道徳	<ul style="list-style-type: none"> 新しい友達 だれの仕事も大切だ 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの日 母の日 電話の向こう 	<ul style="list-style-type: none"> いやな感じ 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことを見つけよう 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会に向けてのやくそく 	<ul style="list-style-type: none"> だれとあそぼうかな で進んで手助けしよう 	<ul style="list-style-type: none"> 私の名前 	<ul style="list-style-type: none"> 通じ合った心 	<ul style="list-style-type: none"> 馬のしっぽ 継続は力なり 	<ul style="list-style-type: none"> 地球にやさしく やさしさを忘れない 	<ul style="list-style-type: none"> インドの夏 マザーテレサ
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 係を決めよう 楽しい給食 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生のために 安全な帰り方 	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康 雨の過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の反省と夏休みの生活 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期のめあて 係を決めよう 	<ul style="list-style-type: none"> 目と姿勢 大いちよバザールに向けて 	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物ゼロ作戦 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の反省と冬休みの生活 	<ul style="list-style-type: none"> 新年のめあて 係を決めよう 	<ul style="list-style-type: none"> 男の子 女の子 お別れ会について 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の反省
	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <生活面> 気持ちよい挨拶 見通しのある生活 <行動面> 場に合った会話 集団への参加 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ 活動料理クラブ のかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り 活動人のかわり 	<ul style="list-style-type: none"> あじさ いクラス の友だち のかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊学習 習の参加 の参人 のかり のかわり 集団生活 	<ul style="list-style-type: none"> おおいちよバザール の人やとり 	<ul style="list-style-type: none"> 今年を振り返って 	<ul style="list-style-type: none"> 新年の誓い 最上級生になるために 	<ul style="list-style-type: none"> 節分会 自分を知ることから 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生を送る会 卒業式 	
	その他	※社会科、理科、家庭科は交流学級の年間指導計画による。										

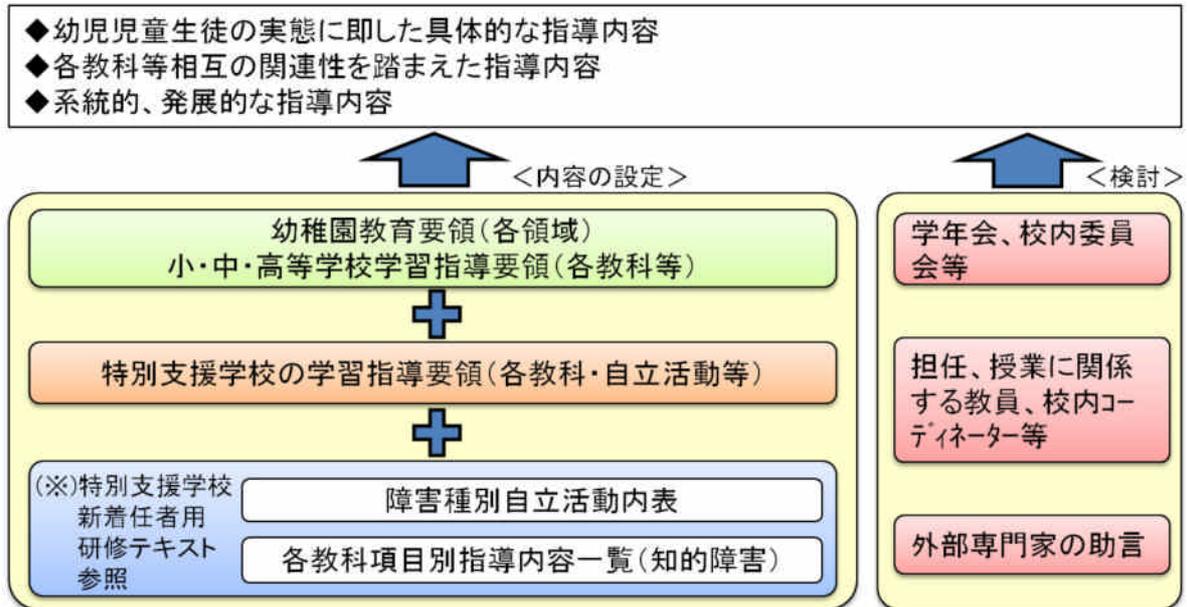
学年・組		5年〇組		氏名		〇〇〇〇												
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録															
			指導の			指導の経過と評価	評価											
			目標	内容	方法													
教科領域等	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 時間の流れに沿って見通しをもって学習に参加する。 遊び時間を楽しく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を忘れずに書いて、一日の見通しを自分でもつようにさせる。日課変更は早めに知らせてもらえるようにする。 遊び時間に一人で楽しく過ごすことはできるので、他の遊びを無理にさせずに、遊びが広がるように声をかけて誘うようにする。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、連絡帳を書くことができた。 一人で絵を描いたり校庭を散歩したり楽しんで過ごすことができた。 クラスの子や遊びにきた友だちと交流できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のパターン化で安心しているので、今の支援を継続する。 クラスや交流の友だちとも一緒にいることの安心感を感じているようなので、今のかかわりを続けたい。
	4	4	4															
	3	3	3															
	2	2	2															
	1	1	1															
	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 人とのやりとりを楽しく感じながら、見通しをもって体験的な活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物、生き物の世話、買い物学習、調理活動など体験と結び付けながら、活動を楽しむ気持ちを大切に、意欲的に学習が持続できるようにする。 活動を通して、望ましい言葉遣いやかかわり方を具体的に教えるようにする。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> これまでの体験の蓄積もあり、安心した気持ちで、学習に意欲的に参加できた。 支援員と一緒に、水やりやウサギの世話など楽しくできた。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で自分一人のできることも増えたが、できるだけ支援者がつき、活動を通してやりとりの仕方を学んでいけるようにしたい。
	4	4	4															
	3	3	3															
	2	2	2															
	1	1	1															
国語	<ul style="list-style-type: none"> 書ける漢字を増やす。 文章を読んで内容が理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導で意味を考えながら漢字の練習を繰り返す。 個別指導で、文章を読んで、質問したり答えたりして内容を読み取るようにする。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 文字に興味をもって意欲的に練習した。 分からない時は、辞書を引くように声をかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 日記や作文を書くときに、使える言葉を増やしたい。 	
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
算数	<ul style="list-style-type: none"> 小数のかけ算わり算を筆算で算する。 垂直、平行がわかり、自分で線が引ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導で、やりかたを丁寧に示し、練習を繰り返し定着を図る。 個別指導で、三角定規の使い方に慣れる。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 計算は確実にできるようになった。 垂直、平行な直線を引けるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算練習は、繰り返し練習をして、自信をつけたい。 学習したことが生活場面で活かされるようにしたい。 	
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌声に気をつけて歌うことができる。 リコーダーなどの楽器の練習を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級との学習で、みんなと声を合わせて歌う。 リコーダーは個別指導で、吹ける曲を増やして、自信をもたせる。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の友達と楽しく活動できた。 リコーダーの練習は自分で目標を決めてがんばれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期は、音楽会に向けて、スモールステップで練習を続けたい。 	
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 思いを表現して、楽しく絵を描くことができる。 材料や用具の使い方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学習に参加できる題材は支援者と一緒に、周りの様子を見ながら楽しく活動する。 個別指導では、表現しやすい材料を準備し、意欲的に活動できるようにする。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら、根気よく絵を描き、作品を仕上げた。 支援者と一緒に、簡単な道具を使ってゲームを作った。 	<ul style="list-style-type: none"> 自由に思いを画面に描くことができるので、しっかり自信をもたせ、楽しい気持ちを持続させたい。 	
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
体育	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級で友だちのやり方を見て、マットや跳び箱をする。 学級のみんなと、プールで楽しく泳ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気をつけ、教員の動きを模範させる。支援員がつける時は個別に支援する。 プールでは、長く泳げるように声をかける。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の友達とのやり方を見ながら、器械運動をした。 手足をしっかり動かして友達と競った。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級での体育に楽しんで取り組めるので、2学期の運動会の練習につなげたい。 	
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 係の仕事で、朝の健康観察簿を一人で忘れないように保健室に持って行く。 飼育委員会の仕事を友達と一緒にやる。 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動は今まで続けていたことなので持続してやれるようにする。仕事ができとことをほめる。 委員会の仕事では、いつ、何をどのようにするのか分かるようにしておく。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 係や委員会の仕事をきちんとすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 方法を理解すればできるので、できたことを認める。 活動中に人とかかわり方を学べるよう、適宜言葉かけが必要である。 	
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
自立活動	<生活面> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちのよいあいさつや言葉遣いをする。 自分のことは自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつが自分からできたときはほめる。会話を広げやりとりを楽しむ雰囲気を作る。 自分から学習に使った物の片付けをし、気持ちよく学習に向かえるようにする。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 決まったあいさつはよくできた。自分から質問をしたり、話しかけたり、会話ができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲のことに興味が広がっているのが大切にしてほしい。 テレビや本からの情報が過多なので聞きながら整理してやるとよい。 	
	4	4	4															
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																
<行動面> <ul style="list-style-type: none"> 安定した生活が送れるようにする。 かかわりの場面を増やし適切な言葉や行動の仕方を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 変更がないように心がける。 落ち着かないときは、待ったり、話をよくきいたりして気持ちが安定して納得して行動できるようにする。 学年や学校行事、交流学級での学習への参加など、場に合ったかかわり方や行動のしかたを学ぶ。 望ましい言葉やかかわり方を具体的に教える。 	<table border="1"> <tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>	4	4	4	3	3	3	2	2	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の友達が、毎朝、日課の変更や学習の予定を知らせてくれて、迷いなく過ごせた。 交流学級との学習は、柔軟に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の友達と一緒に過ごせることが情緒の安定につながるので、無理をしないで楽しいかかわりが続くようにしたい。楽しさの中から、行動の仕方や言葉の使い方を学んでいくようにしたい。 		
4	4	4																
3	3	3																
2	2	2																
1	1	1																

学年・組		5年 組	氏 名	〇〇		
教科等	学期の指導目標	指 導				
		指導内容・指導方法・手だて等	指導の			
			目 標	内 容	方 法	
教 科	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 時間の流れに沿って見通しをもって学習に参加する。 遊び時間楽しく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を忘れずに書いて、一日の見通しを自分でもつようにさせる。日課変更は早めに知らせてもらえるようにする。 無理強いはしないで、遊びが拡がり、友だちとの遊びに入れるように声をかける。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 人とのやりとりを楽しく感じながら、意欲的に体験的な活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物、生き物の世話、買い物学習、調理活動などの体験活動が、意欲的に持続できるようにする。 かかわりを増やす活動を通して、具体的によい言葉や方法を教え、よいかかわりができるようにする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	国語	<ul style="list-style-type: none"> 書ける漢字を増やす。 文章を読んで内容が理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導で意味を考えて漢字の練習を繰り返す。 個別指導で、文章を読んで、質問したり答えたりして内容を読み取るようにする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 小数のかけ算わり算を筆算でする。 面積の意味を理解し値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導で、やりかたを丁寧に示し、練習を繰り返し定着を図る。 個別指導で、実際に図形を描いてイメージをもたせる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌声に気をつけて歌うことができる。 音楽会の担当楽器の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学习で、みんなと声を合わせて歌う。 音楽会で受け持つ楽器の練習をスモールステップで目当てを持って取り組む。個別指導で自分のペースで進める。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	領域	<ul style="list-style-type: none"> イメージを膨らませながら、感想画を楽しく描く。 材料や用具の使い方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵を描くのは好きなので、気持ちを大切にしながら、楽しく活動させる。 個別指導では、表現しやすい材料を準備し、意欲的に活動できるようにする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	等育	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の友達の方や動き見ながらマットや跳び箱、運動会の表現の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気をつけて、模範の動きを見ながら同じ動きをすることができるようにする。支援者がつける時はつく。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 係の仕事で、朝の健康観察簿を一人で忘れずに持って行く。 飼育委員会の仕事を友達と一緒にやる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続してやれるようにし、仕事ができとことをほめる。 委員会の仕事では、いつ、何をどのようにするのか分かるようにしておく。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	自立	<ul style="list-style-type: none"> <生活面> 気持ちのよいあいさつや言葉遣いをする。 自分のことは自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつが自分からできたときはほめる。会話を広げやりとりを楽しむ雰囲気を作る。 自分から学習に使った物の片付けをし、気持ちよく学習に向かえるようにする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1
	活動	<ul style="list-style-type: none"> <行動面> 安定した生活が送れるようにする。 かかわりの場面を増やし適切な言葉や行動の仕方をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 変更がないように心がけ、心が安定して納得して行動できるようにする。 学年行事や学校行事、交流学級との学習への参加をとおして、場に合ったかかわり方や行動のしかたを学ぶ。 学級の児童と一緒に活動できるが、支援者がつける時には、よりよい言葉遣いやかかわり方を具体的に示す。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1



<参考④> 指導内容・方法の設定

一人ひとりの幼児児童生徒に設定した目標を達成するために必要な指導内容を具体的に設定することが大切です。



※具体的な指導内容の参考として、「特別支援学校新着任用者研修テキスト」に、<障害種別自立活動内容表> <各教科項目別指導内容一覧(知的障害)>を掲載しています。

(URL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a503001/induction/text.html>)

平成21年6月に文部科学省より示された「特別支援学校学習指導要領解説－自立活動編－」には、自立活動の具体的な指導内容例が記載されていますが、通常の学級に在籍している障害のある幼児児童生徒への適切な指導や必要な支援のための参考にすることができます。

自立活動の内容に示された具体例

区分	項目	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	LD	ADHD	自閉症	他との関連例
1 健康の保持	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。	○						○	○	
	(2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。				○	○				知的障害
	(3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。	○	○		○					病弱
	(4) 健康状態の維持・改善に関すること。			○					○	病弱
2 心理的な安定	(1) 情緒の安定に関すること。					○	○	○		病弱
	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること。	○							○	視覚障害
	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。				○	○	○			言語障害
3 人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。								○	視覚障害
	(2) 他者の意図や感情の理解に関すること。	○							○	聴覚障害
	(3) 自己の理解と行動の調整に関すること。			○	○			○		自閉症
	(4) 集団への参加の基礎に関すること。	○	○				○			ADHD
4 環境の把握	(1) 保有する感覚の活用に関すること。	○	○	○	○					
	(2) 感覚や認知の特性への対応に関すること。	○	○	○	○		○	○	○	肢体不自由
	(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。	○	○							視覚障害
	(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。	○	○							聴覚障害
	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。	○			○		○			聴覚障害
5 身体の動き	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。	○			○	○				ADHD
	(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3) 日常生活に必要な基本動作に関すること。	○	○	○	○	○	○	○	○	知的障害
	(4) 身体の移動能力に関すること。	○			○	○				肢体不自由
	(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。				○			○	○	自閉症
6 コミュニケーション	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。		○						○	知的障害
	(2) 言語の受容と表出に関すること。		○		○					自閉症
	(3) 言語の形成と活用に関すること。	○	○				○			言語障害
	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。	○	○		○	○			○	聴覚障害
	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。	○					○			情緒障害

※他との関連例・・・他の項目との関連例に記述があった障害

「個別の指導計画」記入例12

- ◆特別支援学級に在籍する中学校3年生の記入例です。
- ◆様式2は、教科等を合わせた指導（日常生活の指導・生活単元学習・作業学習）の単元の学習を構成する各教科・領域の内容を記入し、相互の関連が分かりやすいようにしています。

学年・組	3年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月

個別の教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	必要に応じて、周囲の支援を求めながら、進んで取り組むことができる。	個別の教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	自分の気持ちを教員や友達に伝えるとともに、学校生活の中でときと場に応じた言動をとることができる。
------------------------------	-----------------------------------	------------------------------	--

	幼児児童生徒の様子	年間指導目標	
教 科 領 域 等	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 着替えの後の片付けが十分でないときがある。 洗顔が苦手である。 掃除に真面目に取り組むが、掃き残しがある。 大きな声であいさつができる。 学級内での当番の役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の衣服や持ち物を整理して置くことができる。 手や顔に水がつくことに慣れ、自分で洗顔できる。 担当した場所を丁寧に掃除することができる。 「ありがとう」「すみません」を適切に使うことができる。 学級会などで司会を行うことができる。
	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 人の様子が気になり集中できないことがある。 ゲーム的な活動を好むが、夢中になると順番やルールを守ることが難しくなる。 目標が具体的で明確であれば、それに向けてがんばることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活上の望ましい習慣や態度を身に付ける。 活動の目的と自分の役割を理解し、責任をもって主体的に活動することができる。 教科の学習で習得した知識や技能等を生活の中で使うことができる。
	学習	<ul style="list-style-type: none"> 作業のやり方が分からない友達に声をかけたり手伝ったりしようとするが、言い方が強くなることもある。 作業の手順を理解すると意欲的に取り組むが、作業が雑になることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と協力し、時間いっぱい集中して、作業に取り組むことができる。 自分たちの製品の販売を通して、働くことの喜びを感じ、よいものを作ろうとする意欲をもつことができる。
	国語	<ul style="list-style-type: none"> 手がかりがあれば文章の内容を理解できる。 簡単な漢字を文の中で使うことができる。 短い文章を平仮名で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の生活で必要となる国語について理解し、生活の中で使うことができる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> 警察署、消防署、病院の大体の働きを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関係の深い公共施設や公共物の働きを理解し、それらを利用することができる。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> 地域の様子や地図に関心を示している。 10までの数の合成・分解ができる。 基本的な図形が描ける。 何十円が出せる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初歩的な数量の処理や計算を日常生活の中で使うとともに、金銭や時計、暦の使い方慣れる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物や動物の名称を知っている。 人体のつくりや働きを大まかに理解している。 日常生活で使う道具やリサイクルに関心を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関係の深い自然の事物や機械・機器に付いての興味を広げ、基本的なことがらを理解することができる。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> カタカナの言葉やアルファベットに興味をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語に親しみ、簡単な表現でコミュニケーションを図ろうとすることができる。
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 外国の人に積極的にあいさつをしようとする。 友達の歌や演奏を楽しく聴くことができる。 打楽器の演奏を好む。 大きな声で歌おうとするが、発音が不明瞭なことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな音楽を楽しく聴くとともに、歌詞やリズムなどに気を付けて歌うことができる。
	美術	<ul style="list-style-type: none"> 形や色の違いが分かり、それらを組み合わせることができる。 教員の声かけがあれば丁寧に塗ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたことや想像したことを、身近な材料を使って絵や立体に表現することができる。
術保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 粘土や紙をつかった制作活動を好む。 曲に合わせて体を動かすことや、遊具で遊ぶことを好む。 走ることやボール投げ、縄跳びが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動、簡単なスポーツの経験を通して、体力の向上を図る。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良くしたいという気持ちが強く、優しい面もあるが、自分の思いが優先し、相手の立場に応じた言動が難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣と集団生活の基本を身に付けるとともに、自分を知り、友達とのよりよいかかわり方を考えることができる。 	
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことに意欲的だが、バランスを必要とする運動や作業は苦手である。 コミュニケーションに対する意欲は高いが、自分のイメージを言葉で表現したり、考えて書いたりすることには時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの体の動きのバランスをできるだけとりながら活動に取り組むことができる。 正確な発音で話をするとともに、ワープロソフトを使って自分の考えなどを書くことができる。 	

学年・組		3年〇組			氏名		〇〇〇〇					
類・職等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
日常生活の指導	<指導内容> 身近処理に関すること → 衣服の着脱、食事、トイレ、清潔、健康・安全等 集団生活に関すること → あいさつ、きまり、時間、交通、美化、清掃等 経済生活に関すること → 金銭、役割、責任感等 ----- <指導の場> 朝の会・帰りの会・給食・清掃・休憩時間等において、年間を通して指導 各教科・領域と関連付けて適宜指導											
	生活単元学習	新しい学級	春の遠足に行こう	一緒にゲームしよう	卒業生を訪ねよう	運動会に参加しよう	校外学習に出かけよう	文化祭に参加しよう	日曜日のランチを作ろう	作品展の準備をしよう	喫茶店・出店を開こう	1年を振り返ろう
作業学習	農芸	さつまいもをつくろう			野菜を育てよう (作品展にて販売)							
	園芸	花壇を花でいっぱいにしてよう							卒業式に飾る花を育てよう			
	縫製	ランチョンマットと雑巾を縫おう (文化祭にて展示)					ランチョンマットと巾着袋を縫おう (作品展にて販売)					
国語	自分のことを話そう・書こう	新聞やチラシを読もう	作文を書こう	電話で話そう	メモを使って伝えよう	劇のシナリオを考えよう	作文を書こう	案内状を出そう	書き初めをしよう	いろいろな書類を書いてみよう	学級文集を作ろう	
社会	学校の周囲		私たちの市		私たちの国		世界の国々		私たちのくらしと公共施設 公共機関			
数学	1,000までの数	10,000までの数	順番の大小	買い物をしよう (お金の計算)	足し算引き算	かけ算	かさ	時間	長さ	三角形と四角形		
理科	春の草花	発育と成長	道具のしくみ	動物	食物と栄養	昆虫	太陽・月・地球	心臓・血液・肺	電池と電球	天気	消化器系のしくみ	
英語	カタカナで書く言葉	アルファベットの練習	簡単なあいさつ	曜日と時間	英語を探そう	英単語(身近なもの)	英語で数えよう	英語で表そう(動作)	簡単な会話	英語で表そう(色・形)	簡単な会話(買い物)	
音楽	春の歌	リズム遊び	演奏しよう	大きな声で歌おう	合奏しよう (文化祭に向けて)		いろいろな曲を聴こう、歌おう		冬の歌	気持ちを込めて歌おう		
美術	友達を描こう		彫刻(手をつくろう)		ポスター・デザイン・貼り絵 (文化祭に向けて)		年賀状(版画)	ジャンボかるたお面		文集を絵で飾ろう		
保健体育	体力測定	集団行動	走り幅跳び	水泳	フォークダンス	マット運動	跳び箱	持久走	球技 ソフトボール 卓球 サッカー			
道徳	生活習慣	ルール・マナー	時間・約束	大人になるには	災害や事故	最後までやり抜こう	文化祭を通して	社会参加	言葉遣い	ボランティア	美しい学校	
	友達になろう	自分の仕事	夢の実現	親切		友情	ボランティア	接客	節約	命の尊さ	先輩として	
自立活動	<指導内容> 安心して気持ちを集中し、考える態度の育成 → 走るときの手や足の協応動作や調整力の育成 → 作業に応じた全身のコントロールの体験的理解 → 文字・言葉・身振り・シンボル・写真等のコミュニケーション手段の選択と活用 → ----- <指導の場> 各教科・領域、教科等を合わせた指導等と関連付けて適宜指導											
	行事	始業式 入学式	避難訓練	プール開き	宿泊学習 終業式	始業式 運動会	特別支援 学級交流会	文化祭	持久走大会 終業式	始業式	作品展	お別れ会 卒業式 修了式

学年・組		3年〇組		氏名		〇〇〇〇				
教科・領域等	学期の指導目標	指導記録								
		指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価	検討課題 (次学期に向けて)		
			目	内	方					
標準	容	法	標	容	法	標	容	法		
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 司会として朝の会を進め、確認事項を友達に分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順表を準備する。 朝の会の前に確認事項(今日の予定と係分担等)をメモに書かせる。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 手順表通りに進めることができた。 友達が話を聞いてくれないときに、怒ってしまうことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順表がなくても進められるようにする。 「今、友達は聞いてくれるかな。」「こんなときは友達に何と云うの。」と声をかけ、友達を意識する場面を意図的に設定する。
	<ul style="list-style-type: none"> 登校後、上着をきちんとたたんで、自分のロッカーに入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校後に行くことを示したチェック表を準備する。 上着のたたみ方を教室内に掲示する。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 脱いだ上着をそのまましておくことは少なくなった。 たたみ方が分かりにくいため、脱いだままロッカーに入れていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 四折りなど簡単なたたみ方から始める。 上着を折りたたんだ位の大きさ(広さ)のカゴを用意し、そこにきちんとおさまるように伝える。
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に地図で遠足の目的地を確認し、当日の行程を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の授業内容を想起させるとともに、移動時間や距離、方角、休憩場所などのヒントを、必要に応じて示す。 友達からの話しかけに答えたり、地図を調べたりしたら、しっかりと称賛する。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 友達と相談しながら考えることができたが、発音が不明瞭な部分があるため、教員が間に入って、説明することが必要だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図を教室に掲示して常に確認することで、地図を見る力を高めていきたい。 自分の意見や提案をワープロソフトで文書にまとめさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> 順番やルールを守りながらボウリングゲームを楽しむとともに、勝敗が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールを教室に掲示するとともに、朝の会等でも確認する。 スロープを用意し、使用するかどうか選択させて投球させる。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 倒れたピンを教え、勝ち負けを決めると、その結果に従おうとしていた。 自分たちでゲームを進めようとしていたが、負けが続くとルールを変更しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ボウリングゲームを交流及び共同学習でも行い、主体的な参加を促したい。 生徒のやり方を認めながら、いろいろなルールで遊んでみて徐々にルールを一本化していく。
領域学習	<ul style="list-style-type: none"> できばえを意識し、正確に植え替えの作業を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 苗を植える間隔や土の量を自分で判断して作業に取り組めるように、目印を付ける。 できばえを自分で確認できるように、見本を用意しておく。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの並べ方が雑になることがあった。 目印を見ながら、注意深く取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> プリンターを置く位置にも印を付ける。 作業に慣れてきたら目印を徐々に減らしていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 1年生に対し、作業の手本を示すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間、作業を始める前に3年生に手本を示させることで自覚をもたせる。 1年生が分からないときには援助するように 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 1年生と声をかけ合って作業に取り組んだ。 1度の説明では、1年生が理解できなかったため、困惑した様子だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 同学生のペアでも行い、協力する態度を定着させる。 作業手順をコンピュータでカード化し、1年生への説明に使うよう提案する。
国語	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の興味のある記事を5W1Hの視点でまとめ、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめる作業の前に、5W1Hを確認しながら、カードにしていく。 表記や漢字、接続詞などを学ぶ時間を確保する。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 教員との会話では自分の考えや思いを話す、文にすると、「〇〇しました。」というパターンに終始した。 長い文章を書くのに苦手意識があり、表現を膨らませるのは難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ記事について書かれた教員や友達の文を、互いに見合っ様子や気持ちの表現を膨らませるようにする。 完成した文章をワープロで打つようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 電話で必要なことを話したり、聞き取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「トラブルがあって遅刻する」という場面を設定する。 伝えるべきことを書き入れるためのカードを用意する。 実際の電話を利用するとともに、カードを見ながら自信をもって電話するよう伝える。 	4	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> カードに書かれたことをゆっくりと読んで伝えることができた。 改まった場では萎縮してしまい、カードに書かれた以外の内容については、会話が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話の内容を録音し教員と一緒に振り返るようにする。 練習の時間を多く設定する。 会話がつまってしまったときの対応(「すみません。かけ直します。」)も指導する。 慣れてきたら、「店の予約」や「遊びの誘い」など他の場面を設定する。

社 会	<ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の道路や建物を、絵地図や交通の路線図の上で確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路上の道路や交差点、大きな道路や建物の写真の場所を地図で確認させる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 地図に貼り付けた写真を見て、「ここから左に行けば。」と言って方位にも興味を示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を貼った地図を教室に掲示し、学習を進めながら適宜情報を追記していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 学校が所在する市の主な道路や建物、商店や娯楽施設などを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から家庭で利用している場所を絵地図で確認させる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 「〇〇の隣に□□がある。」など、自分の経験と照らし合わせて確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 確認した建物等の役割を話し合い、校外学習等で実地に調べさせる。
数	<ul style="list-style-type: none"> 100円が10枚で1000円になることを知り、両替することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 10の束が10個で100、100の束が10で個で1000となることを、ブロックの操作で確認する。 実際の硬貨で用意する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ブロックの操作は確実に行うことができたが、硬貨の枚数を揃えるのには時間を要した。 	<ul style="list-style-type: none"> 硬貨の種類ごとに、仕切りのあるトレイ（10枚を一度に並べる）を準備する。
	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな3桁の数字ちょうどのお金を用意することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな金額ちょうどを用意するドリルを用意する。 空位の0を含む金額や、2桁、1桁の金額を用意する場面も意図的に設定する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた中では、確実に用意できた。 実際の買い物では、金額ちょうどを用意しようと思っすぎてしまい、余計時間がかかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に使えるように次の点も指導する。 ※口頭での金額は忘れやすいので、レジの表示金額を見る。 ※例えば48円であれば、50円で支払う。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> 春の植物の名称を知り、成長の様子に関心をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学の途中の道ばたや学級園で栽培している植物の名称を調べさせる。 一週間に一度、茎や葉の長さを測り、成長を実感させる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 花びらの色、葉の形や数等に興味を示し、図鑑で同じ植物の仲間を探していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 春の植物を写真やビデオに記録し、夏、秋、冬の植物や景色と比較させる。
	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活でよく使う電気器具のおおまかな仕組みに関心を持ち、使用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と学校の洗濯機や掃除機を比較させ、基本構造は同じであることを理解させる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> スイッチ、モーター、電源部分等で構成されることを知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭で実際に使用させることで、正しい使用方法を学ばせたい。
科 英 語	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、お礼、自分の名前等、簡単な表現に関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国のアニメーションの中で取り上げられているあいさつや自己紹介等を題材にする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士でも積極的に英語であいさつをしたり、自己紹介をしたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語で楽しく表現する場面と、日本語できちんと表現する場面を使い分けたい。
	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットに興味をもち、なぞることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットを使ったゲームや簡単な英語の歌を聴くことで興味や関心をもたせる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ゲームや歌には楽しんで取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットをなぞるのは難しいので、コンピュータで英語の文字当てゲームを行う。
領 域 音 楽	<ul style="list-style-type: none"> 「春が来た」「春の小川」をはっきりした音声で歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や教員、CDなどによる歌をより多く聴く機会を設定する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で歌えるが、友達と歌うときの声の大きさの調節は難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の友達と小グループで合唱を行う。（2学期の文化祭で発表）
	<ul style="list-style-type: none"> 電子ピアノ使って、旋律の一部を演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本生徒が演奏する簡単な旋律に教員が合わせて演奏することで、合奏の楽しさや喜びを感じさせる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 一度覚えた旋律を何度も演奏し、教員を合奏に誘った。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒とペアで合奏に取り組み、必要に応じて教員も入ってリードする。
等 美 術	<ul style="list-style-type: none"> 好きな道具を選び、友達の顔をよく見て描くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いの顔を見て、自分と同じ、違う部分を観察させる。 筆ペン、鉛筆、クレパス等から自由に選ばれる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 髪の毛の長さや唇の輪郭など、細かな部分（特徴）をとらえることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 静物や風景の描写にも取り組ませたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の手を絵に描いて、粘土で立体表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の手の形や質感を確かめながら作業させるとともに、同じ手を題材にした絵と彫刻を比べさせ表現方法の違いに関心をもたせる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 手には固い部分と柔らかい部分があることに気付くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習で利用する乗り物や見学する建物を題材にして、文化祭で展示させる。
保 健 体 育	<ul style="list-style-type: none"> 号令に合わせて、体の向きを止め、着席や整列をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> BGMを止めたときに、その場で動きを止める。 号令に合わせて、決められた位置（床に○で印）に行く。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返していくことで静止する時間が長くなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 静止時に気を付けの姿勢をとり、号令に従って体の方向を変える課題を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 10メートルを全力疾走することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5メートルから始める。 スタートとゴールを明確にする。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 教員が入差し指で軽く本児の腰椎のやや上を押すことで全力疾走できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 20メートルを教員の補助無しで走ることができるようにしたい。
道 徳	<ul style="list-style-type: none"> ゲームや係活動を通して友達のことを知ろうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達のことがどれだけ分かったか発表し合う。 友達の係活動を相互に評価させる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 友達の好きなもの、性格、学級への貢献等に気付くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互評価を継続し、自分が役立っていることを理解させ、責任感をもたせたい。
自 立 活 動	<ul style="list-style-type: none"> 二輪スクーターに一人で乗ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間等に二輪スクーターで遊ぶ。 スキップやケンケン等を取り入れた遊びを設定する。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ペダルのない自転車も足でこいで進むこともできた。 友達よりも早くケンケンで進もうとした。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助輪付き自転車の練習を取り入れる。 平均台や片足立ち等を取り入れる。
	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータのキーボード入力に慣れ、ワープロソフトで自分の考えなどを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作文などの学習の際、ワープロソフトを使って書く。 教員が用意した原稿をもとに作業学習の製品を紹介するチラシをつくる。 	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを伝えられることを喜んでいった。 長い文章を作ろうと意欲的だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子メールの利用に挑戦させたい。 パソコン部に参加し多くの生徒とかかわりをもたせる。

＜参考⑤＞「個別の指導計画」の活用～「個別の指導計画」に基づいた授業～

「個別の指導計画」に基づいて、日々の授業を展開するに当たっては、「個別の指導計画」に記載した目標や手だてが、学習指導案の単元（題材）設定の理由、一人ひとりの単元目標や本時の主眼、指導上の留意点等に具体化される必要があります。

また、授業を実践していく中で、「個別の指導計画」の目標とつながらない場合、単元の指導内容や目標の見直しを検討する必要があります。目標は妥当であったか、指導内容や支援の手だては適切であったかなどについても分析し、必要な修正を行います。

このような取組により、「個別の指導計画」が一層充実していきます。

＜個別の指導計画と指導のつながりの例＞

◆児童の実態

- ・学習中に離席することが多く、教員の注意も聞き入れにくい。
- ・文房具を触っていることが多く、教員の説明を聞いていない様子が見られる。
- ・興味のあることを一方的に話し、授業の内容に無関係の質問をしてしまう。
- ・絵や写真などを、興味をもってよく見ている。



◆児童の課題

- ・言葉だけでは課題や内容を理解することが難しい。
- ・教員の話に注意を向けることが難しい。



◆「国語」の年間指導目標（長期の目標）

- ・教員の話に注意を向け、課題を理解して、自分から活動に取り組むことができる。



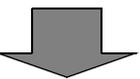
◆「国語」の学期の目標（短期の目標）

- ・絵や写真などを手がかりに自分のすることを理解することができる。
- ・絵や写真、順番表を手がかりに一人で活動に取り組むことができる。



◆「国語」の指導・支援の方法の設定

領域	指導・支援の方法
話すこと	・「いつ」「だれが」「何を」「どのように」「どうした」等の文字カードやワークシートを提示して、話す内容を整理したり、順序立てて話したりできるようにする。
聞くこと	・教員の質問や友達の発表を聞く場面では、キーワードや絵、写真等を提示し、大事なことを聞き取りやすいようにする。
書くこと	・本児と話しながら、印象に残ったことや想像したことを教員が描いた絵を見て、文字化していけるようにする。
読むこと	・文章の内容を絵や動作で示したり、キーワードを提示したりして、文章の内容を理解できるようにする。



◆「国語」の授業（単元名：校内探検）における指導・支援

次	活動内容	具体的な手立て
1	部屋を調査する。	・調べる部屋の写真や文字カードを持たせ、調査する部屋を意識させる。 ・調査した部屋を思い出しやすいように、デジタルカメラで撮影させる。
2	発表の準備をする。 (支援員による支援)	・撮った写真を使って、何が置いてあるか、何をやる場所かを考えさせる。 ・写真をみて、ワークシートに文字を書き込ませる。
3	発表する。 発表を聞く。	・教員の質問（「どこ」「なに」）を事前に黒板に掲示しておく。 ・教員は友達の発表内容に合わせて文字カードを黒板に貼り（「としょしつ」「ほん」等）、大切なことを聞き取ることができるようにする。

「個別の指導計画」に記載

週案・学習指導案等に記載

「個別の指導計画」記入例13

- ◆総合支援学校に在籍する、視覚障害のある高等部1年生の記入例です。
- ◆高等学校に準ずる教育課程を編成しています。
- ◆様式1は、シラバス一覧等から各教科の目標を転記し、自立活動については、年間指導目標を設定しています。
※各教科の実態の詳細は、別に作成している生徒実態表を参照するようにしています。
- ◆様式2は、シラバス一覧等から指導内容を転記し、自立活動については、指導内容を設定しています。
- ◆様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、各教科・領域等の指導において特に配慮する支援を記入しています。
※各教科の指導目標、指導内容については、高等学校の各教科と同様としています。

学部・学科 学年・組	高等部・〇〇科 1年〇組	校長氏名印 〇 〇 〇 〇	担任氏名印 〇 〇 〇 〇	期間 平成〇〇年4月～平成〇〇年3月
氏名	〇〇 〇〇			

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①学習やコミュニケーション・思考を深める手段を身に付ける。 ②白杖を使って単独歩行ができる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①音声パソコンを使って情報を収集したり、点字タイプライターを用いて点字を書くことができる。 ②学校内の位置関係を頭にイメージし、一人で移動するとともに、近所の商店やバス停まで歩いて行くことができる。
---------------------------	---	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標																						
教科 ・ 領域 等	<p>※個別の教育支援計画を参照 ※生徒実態表を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眼疾患名 ・遠距離視力 (右 左 両眼) ・近距離視力 (右 左 両眼) ・最大視認力 (右 左) ・視機能障害 ・視野の状態 ・視機能障害に関するその他の事項 ・視覚補助具 ・遠用弱視レンズ、近用弱視レンズ ・視覚補助具に関するその他の事項 ・視覚障害の状況に関する特記事項 ・眼疾患以外の疾患 ・身辺自立 ・感覚・認知 ・移動・運動 ・社会性 (コミュニケーション等) ・注意事項 (服薬など健康面におけるもの) 等 <p style="text-align: center;">↑</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>児童生徒実態票等の他の調査票を作成している場合、これらを踏まえて記入します。 各教科・領域等の指導に当たって、必要がある場合、児童生徒の様子 (実態) を追記します。</p> </div> <p style="text-align: center;">→</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>シラバス一覧等より目標を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。</p> </div>	<p>※年間指導目標は高等学校1年の教育課程に準ずる。</p> <table border="1"> <tr> <td>国語総合</td> <td>国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>現代社会</td> <td>人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。</td> </tr> <tr> <td>数学I</td> <td>方程式と不等式、2次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを確認できるようにする。</td> </tr> <tr> <td>理科総合A</td> <td>自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。</td> </tr> <tr> <td>体育</td> <td>各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</td> </tr> <tr> <td>音楽I</td> <td>音楽の様々な分野における歌唱や器楽の演奏、創作活動や鑑賞を経験し、音楽を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。</td> </tr> <tr> <td>英語I</td> <td>日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>家庭総合</td> <td>人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。</td> </tr> <tr> <td>情報A</td> <td>コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>総合学習</td> <td>正しい自己認識の上で職業についての理解を深め、職業観を養う中で、自己の在り方や生き方について考察するとともに、大学、専門学校等の学科・コース研究を進め、より適切な進路選択ができるようにする。</td> </tr> </table>	国語総合	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	現代社会	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。	数学I	方程式と不等式、2次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを確認できるようにする。	理科総合A	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。	体育	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。	保健	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。	音楽I	音楽の様々な分野における歌唱や器楽の演奏、創作活動や鑑賞を経験し、音楽を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。	英語I	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	家庭総合	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。	情報A	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。	総合学習	正しい自己認識の上で職業についての理解を深め、職業観を養う中で、自己の在り方や生き方について考察するとともに、大学、専門学校等の学科・コース研究を進め、より適切な進路選択ができるようにする。
	国語総合	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。																						
現代社会	人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。																							
数学I	方程式と不等式、2次関数および図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを確認できるようにする。																							
理科総合A	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。																							
体育	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																							
保健	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。																							
音楽I	音楽の様々な分野における歌唱や器楽の演奏、創作活動や鑑賞を経験し、音楽を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。																							
英語I	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。																							
家庭総合	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。																							
情報A	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。																							
総合学習	正しい自己認識の上で職業についての理解を深め、職業観を養う中で、自己の在り方や生き方について考察するとともに、大学、専門学校等の学科・コース研究を進め、より適切な進路選択ができるようにする。																							
自立 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の移動は単独でできる。 ・白杖操作は一通り学習してきているが、実際に一人で歩いた経験は少ない。 ・自ら積極的に話しかけたり、援助を依頼したりすることは苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白杖歩行の基本技術を習得する。 ・保有感覚を活用して周囲の状況を確認できるようにする。 ・学校から最寄りのバス停までの歩行を確立する。 																						

学部・学科 学年・組		高等部・〇〇科 1年〇組			氏名			〇〇〇〇				
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教 科 領 域	国語総合	国語総合	伝えあう 漢字に親しむ しむ	随筆の楽 しむ しむ	広がる見 方・考え 方	自分の考 えを書く 物語の世 界	詩歌との 出会い 漢文のと びら	読みを深 める らべ	唐詩のし む む	論理を育 む む	和歌と俳 諧のしら べ	物語への いざない 未来をひ らく
	現代社会	現代社会	現代社会の諸問題を 探る	現代の社 会生活と 青年	現代の経済社会と経済活動の あり方	国際社会の動向と日本のはた すべき役割	現代の民主政治と 民主社会の倫理					
	数学I	数学I	整式	実数	不等式	二次方程式	二次関数とグラフ	グラフと方程式・ 不等式	三角比	三角比と 図形	図形の計 量	
	理科総合A	理科総合A	元素と単 体・化合 物の構成 粒子	原子の構 造と物質 の構成粒 子	化学変化 と化学反 応	状態変化 とエネル ギー	酸・塩基 の中和反 応とエネ ルギー	酸化還元 反応とエ ネルギー	日常生活 くる物質 なエネルギー	生物のつ くくる物質 なエネルギー	資源の関 与と利用 の進歩と 課題	
体育	体育	<運動> 体づくり運動 器械運動				陸上競技			球技			
領域	領域	<体育理論> 社会の変化とスポーツ				運動技能の構造と運動の学び方			体ほぐしの意義と体力の高め方			
シラバス一覧等より指導内容を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。												
等	英語I	英語I	つづり字 と音の関 係	異文化交 流	お気に入り の紹介	生きるこ との意味 切さ	平和の大 躍する日 本人	世界で活 躍する日 本人	考え方や 価値観の 違い	科学技術 の発達 ・歴史	世界の貨 幣と文化 表現	宇宙の生 命と神秘
	家庭総合	家庭総合	人と食生 活	栄養と食 品	献立と調 理	人と衣生 活	被服材料 被服の選 択と安全	被服の選 択と安全	被服製作	私たちの 消費と経 済	消費者の 権利と責 任	消費生活 と資源・ 環境
	情報A	情報A	コンピュ ータの基 本操作と 入力練習	情報社会と情報の 活用	問題解決 の工夫	情報の伝 達	情報の検 索と収集	情報の検 索と収集	情報の受発信と共 有	ネットワーク利用の心構え		
自立活動	自立活動	○白杖歩行の基本技術 ・スライド法、タッチテクニ ック ・白杖を用いた直線歩行 ○空間概念の形成 ・東西南北の定位 ・地理的空間定位と心的地図 ・校舎内の教室位置の把握	○住宅街の歩行 ・路上の障害物回避 ・歩行中の自転車回避 ・歩行中の自動車音源定位 ・ランドマークの発見 ・交差点の発見 ・交差点の横断 ・直角の方向取り、元ルートへの復帰	○準繁華街の歩行 ・信号の利用 ・選択聴音による環境把握 ・目的地の発見 ・コース定位 理解と立案、コース変更 ・逆コースの理解 ・混雑時の歩行								
その他	その他	※自立活動以外の教科・領域については、高等学校1年の教育課程に準ずる。 <各教科指導上の配慮事項> ・事物・事象や動作と言葉を対応させた指導を心がける。 ・観察、実験、操作活動等、可能な限り直接体験を設定する。 ・コンピュータ等の情報機器を活用する場合、音声化ソフト（読み上げソフト）を利用する。 ・視覚的なイメージを伴う言葉については、これまでの経験や知識と関連付けて丁寧に説明する。 ・触覚教材や音声教材を活用したり、理科や数学等の授業では、模型を用いた観察やモデル実験を行ったりして効果的な学習ができるようにする。										

学部・学科 学年・組		高等部・〇〇科 1年〇組	氏名	〇〇〇〇			
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の		評価		
			目	内	方	指導の経過と評価	検討課題 (次学期に向けて)
			標	容	法		
国語総合	<p style="text-align: center;">↑</p> シラバス一覧等より学期の指導目標を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。	教科書の基本問題を繰り返し解かせる。 根号を含む式の計算順序に沿って四則計算を行えばよいことを説明する。 具体的な数値や数直線を使い不等式の性質を考えさせる。 数直線板を利用する。	4	4	4	各教科・領域担当者がシラバスの評価方法に従って評価します。 特に支援・配慮した事柄があれば、その評価もあわせて記入します。	
現代社会			4	4	4		
数学I	・多項式の性質を理解する。 ・絶対値記号や平方根の意味を理解する。 ・一次不等式が解けるようになる。	・教科書の基本問題を繰り返し解かせる。 ・根号を含む式の計算順序に沿って四則計算を行えばよいことを説明する。 ・具体的な数値や数直線を使い不等式の性質を考えさせる。 ・数直線板を利用する。	4	4	4	・指数法則、乗法公式を使って問題を解くことができた。 ・簡単な根号を含む式の計算ができた。 ・不等式の例題の数値変えの問題はよくできた。	・最低限の公式を覚えるのも大切であることを理解させたい。 ・不等式の性質については、てんびんを使って理解した後に、負の数で符号が変わることを教える。
理科総合A	・物質を構成している基本的な粒子の概念を理解する。 ・物質の変化の種類、変化(量的関係)の表し方やエネルギーの出入りを理解する。	・身の回りの物質を一つ選び、それが自然界からどのように得られ、形を変えているのかを検討させる。 ・中学部で学習したエネルギーの変換について思い出してみるよう促す。 ・実験には、感光器や電流感知装置を利用する。	4	4	4	・身の回りの物質は、自然界にある物質を変化させて得られていることを指摘できた。 ・光から電気エネルギーへの変換等、身の回りの例の想起が難しかった。	・観察・実験の結果を大きさの異なる発泡スチロール球などを使った粒子のモデルで表すことで、イメージしやすくする。 ・重さや摩擦が熱エネルギーに変換する例を示す。
領域情報等	・文字入力及び基本ソフトウェアの操作手順を理解する。 ・情報通信ネットワークを利用した情報収集の基本的な方法と情報の取舍選択の必要性を理解する。	・「PCトーカー」やペンディスプレイを使って学習を進める。 ・電子メールと電話との違いを考えさせることにより、利点と欠点を考えさせる。 ・情報の信頼性に疑問が生じたときの対応を考えさせる。	4	4	4	・操作に要する時間を徐々に短縮できた。 ・電子メールの基本的な使い方を理解できた。 ・複数の情報源を用いて判断することができた。	・基本的なキー操作(ショートカットキー)を習得させたい。 ・積極的に分かりやすい表現を行おうとするには、更なる経験が必要である。 ・著作権について指導していきたい。
自立活動	・方向を維持して、直線歩行ができるようにする。 ・校舎内の目的教室にいくつかの異なる経路で移動することができる。 ・心的地図上の位置と地理的定位置の特徴を照合する。	・姿勢、振り幅、リズムなどに気を付け、繰り返し練習させる。 ・「正面は北、この隅は？」等空間座標軸に自分軸を位置付けさせる。 ・適切なランドマーク(手がかり)を選択して利用する。 ・学校周辺の道路を実際に歩く活動を設定する。	4	4	4	・リズムカルな白杖操作で、直線歩行はスムーズにできるようになった。 ・校舎内は、いつも同じ経路で移動していることが分かった。 ・校内の慣れた場所では正しい姿勢で自信をもって歩くことができるが、校外へ出た途端に動きがぎこちなくなってしまう。 ・回避からの回復行動の習得にやや手間取った。	・このまま継続して取り組ませ、自信を付けさせたい。 ・自分軸で考えることができるので、動きの変化に従って空間定位することが必要である。 ・方向の起点と目標を意識して、方向と距離を予測するなど、普段から心的地図を描く訓練を積む必要がある。 ・白杖での確認に加え周囲の音を十分に聞くことで、安全で確実な歩行をめざす。

「個別の指導計画」記入例14

- ◆総合支援学校に在籍する、聴覚障害のある高等部1年生の記入例です。
- ◆高等学校に準ずる教育課程を編成しています。
- ◆様式1は、各教科・領域等の指導に当たって必要がある場合、各教科・領域における生徒の様子（実態）と、その教科の目標を達成するための、生徒の実態に即した支援の目標（方針）を記入しています。
※自立活動については、年間指導目標を設定しています。
- ◆様式2は、シラバス一覧等から指導内容を転記しています。
※自立活動については、指導内容を設定しています。
- ◆様式3は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、各教科・領域等の指導において特に必要となる支援や配慮を記入するとともに、考査の素点や評定を記入し、指導目標が達成できたかどうかを総合的に評価します。

学部・学科 学年・組	高等部・〇〇科 1年〇組	校長氏名印 〇 〇 〇 〇	担任氏名印 〇 〇 〇 〇	期間 平成〇〇年4月～平成〇〇年3月
氏名	〇〇 〇〇			

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①就職に向け、働くことへの意欲や関心を高める。 ②社会自立に向けて、表現の幅を広げる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①校内実習や現場実習等を通して、自分の将来について考えることができる。 ②場面や状況に応じて、相手の気持ちを考えた表現ができる。
---------------------------	--	---------------------------	---

教科等	幼児児童生徒の様子	年間指導目標
教 科 領 域 A	国語総合 ・文章の読み書きに抵抗を感じており、長文読解が苦手である。 ・言語力は中1相当である。	・得意な手話を用いてことばの意味や概念をつかむとともに、手話や書き言葉を用いて表現する力を育てる。 ・自分で言葉の意味を調べる力を付ける。
	現代社会 ・ニュースに関心がある。 ・テレビを通して情報を得るが、耳からの情報が断片的であるため、正確に理解することが難しく、曖昧な状態のままのことが多い。	・正確に情報・知識をつかみ、それを自らの言葉で説明したり、文章でまとめたりすることができるようにする。
	数学I ・計算は得意であるが、読解が苦手なため、複雑な文章題は自力で内容を読み取るのに困難が見られる。	・図や表などを書いて多面的に理解する方法を身につけ、必要な手段を積極的に活用することができる。
	理科総合A ・実験・観察には興味があるが、概念形成が不十分で、結果を文章でまとめたり、考察することが苦手である。	・視覚教材を用いて、概念形成の理解を助けるとともに、実験・観察の結果をレポートにまとめる力を付ける。
	各教科・領域等の指導に当たって、必要がある場合、児童生徒の様子(実態)を記載します。	障害の特性に応じ、その教科の目標を達成するために必要な支援の目標を記載します。

域		
等 自 立 活 動	<コミュニケーション手段の活用> ・健聴者とコミュニケーションするときには、聴覚口話法と手話を用いる。 ・聴覚障害者と話すときは、手話を用いてコミュニケーションを図るが、知らない手話表現も多い。	・手話単語や手話表現を習得する。
	<言語力の向上> ・漢字を読む力は、中1程度である。 ・濁点や連濁などが苦手である。 ・助詞や動詞の活用がやや苦手であるが、注意すれば自力で直せる。 ・場に応じた表現方法(敬語など)が苦手である。	・漢字の読み書きの力をつける。 ・学年相応の敬語が使えるようになる。
	<社会自立に向けた情報活用能力の向上> ・時事には興味はあるが、政治経済的な内容はその背景を十分につかみきれていないため、断片的な理解にとどまっている。	・新聞が一人で読めるようにする。 ・国語辞典や事典などを積極的に活用できるようにする。

学部・学科 学年・組		高等部・〇〇科 1年〇組			氏名			〇〇〇〇								
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
教 科 ・ 領 育	国語総合	国語総合	伝えあう 漢字に親しむ しむ	随筆の楽 しむ しむ	広がる見 方・考え 方	自分の考 えを書く 物語の世 界	詩歌との 出会い 漢文のと びら	読みを深 める らべ	唐詩のし む 孔子のこ とば	論理を育 む べ	和歌と俳 諧のしら べ	物語への いざない 未来をひ らく				
	現代社会	現代社会	現代社会の諸問題を 探る	現代の社 会生活と 青年	現代の経済社会と経済活動の あり方	国際社会の動向と日本のはた すべき役割	現代の民主政治と 民主社会の倫理									
	数学I	数学I	整式	実数	不等式	二次方程式	二次関数とグラフ	グラフと方程式・ 不等式	三角比	三角比と 図形	図形の計 量					
	理科総合A	理科総合A	元素と単 体・化合 物の構成 粒子	原子の構 造と物質 の構成粒 子	化学変化 と化学反 応	状態変化 とエネル ギー	酸・塩基 の中和反 応とエネ ルギー	酸化還元 反応とエ ネルギー	日常生活 くる物質 なエネルギー	生物のつ くくる物質 なエネルギー	資源の関 与と利用 の進歩と 課題					
体育	体育	<運動> 体づくり運動 器械運動				陸上競技			球技							
体育	体育	<体育理論> 社会の変化とスポーツ				運動技能の構造と運動の学び方			体ほぐしの意義と体力の高め方							
<p>シラバス一覧等より指導内容を転記します。 あるいは各教科等の短冊を貼付します。</p>																
域 等	英語I	英語I	つづり字 と音の関 係	異文化交 流	お気に入り の紹介	生きるこ との意味	平和の大 切さ	世界で活 躍する日 本人	考え方や 価値観の 違い	科学技術 の発達 ・歴史	世界の貨 幣と文化 表現	絵画での 宇宙の生 命と神秘				
	家庭総合	家庭総合	人と食生 活	栄養と食 品	献立と調 理	人と衣生 活	被服材料 と安全	被服の選 択と安全	被服製作	私たちの 消費と経 済	消費者の 権利と責 任	消費生活 と資源・ 環境				
	情報A	情報A	コンピュ ータの基 本操作と 入力練習	情報社会と情報の 活用	問題解決 の工夫	情報の伝 達	情報の検 索と収集	情報の受 発信と共 有	ネットワーク利用の心構え							
自 立 活 動	自立活動	自立活動	・自分の聴力を確認する。 (聴力検査の実施)	・新聞記事を読む。	・日記指導	・漢字の読み書き	・手話学習	・発音学習	・場に応じたコミュニケーション	・自分の聴力を確認する。 (聴力検査の実施)	・新聞記事の内容を文章でまとめる。	・日記指導	・漢字の読み書き	・手話学習	・発音学習	・敬語の指導
	その他	その他	<p>※自立活動以外の教科・領域については、高等学校1年の教育課程に準ずる。</p> <p><学校生活全般における配慮事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 時々補聴器を外していることがあるので、その時は理由を聞き、装用するように促す。 漢字の読みが苦手なので、読みについては、指文字や筆談を使って、理解しているかどうかを確認をする。 知らない手話表現があるので、教員が積極的に手話単語や表現を指導するよう心掛ける。 													

学部・学科 学年・組		高等部・○○科 1年○組	氏名 ○○○○			指導記録			
教科等	学期の指導目標	指導内容 指導方法 手だて等	評価						
			指導の			指導の経過 評価(所見) 検討課題等	学習成績		
			目	内	方				
			標	容	法				
国語総合	↑ 年間指導目標・年間指導計画に即して、学期の指導目標を記載します。	↑ 指導目標に即して、具体的な指導方法や支援の手だてを記載します。	4	4	4	↑ 各教科・領域担当が指導目標に即して評価します。支援した事柄や配慮に対する評価もあわせて記載します。	中間調査		
			3	3	3		素点!	平均!	
現代社会			2	2	2		期末調査		
			1	1	1		素点!	平均!	
数	・基本的な計算問題を習熟する。 ・文章題を解くに当たって文章の内容を式や図表で表現する。	・教科書の基本問題を繰り返し練習させる。 ・文章の内容を整理できるように、問題を解くために必要な基本事項を説明する。	4	4	4	・基本問題を正確に解くことができた。 ・文章の内容を式や図表などで表現し、解くことができた。 ・似たような文章題を出題し、習熟を図ることが課題である。	1学期		
			3	3	3		素点!	平均!	
I			2	2	2		1学期		
			1	1	1		素点!	平均!	
理科総合A	・物質を構成している基本的な粒子の概念や化学変化について図や写真をもとに言葉で整理できるようにする。	・実験を積極的に取り入れる。また、実験時の様子をデジカメやビデオで記録に残し、レポート整理の際の支援に役立てる。	4	4	4	・混合物の分類について実験に積極的に取り組み、意欲的にレポートをまとめた。 ・まとめる際、助詞の指導に少し時間をかけて取り組ませることが課題である。	中間調査		
			3	3	3		素点!	平均!	
領			2	2	2		期末調査		
			1	1	1		素点!	平均!	
等	・辞書の活用の習慣を身に付けさせる。 ・格助詞の間違いを少なくする。 ・漢字の読み書きの力を付ける。 ・手話でコミュニケーションを図る力を付ける。 ・場に応じたコミュニケーションの技術を身に付ける。	・新聞を読ませる際、分からない言葉の意味を自ら調べる時間を確保する。 ・日記指導の際、やり直させるだけでなく、短文作りもさせる。 ・読字力検定試験に向けての家庭学習の取り組みについて丁寧な指導を行う。 ・手話ニュースを見せることで手話表現の読み取りや単語の理解を深める。 ・職場見学を通して、挨拶やコミュニケーションのしかたについて学ばせる。	4	4	4	・教員や他の生徒と一緒に調べる機会を増やすことで、自分から調べることへの抵抗が少なくなってきた。 ・助詞の間違いは少しずつ直ってきたが、文を書く絶対量が不足している。 ・日記を毎日書く習慣が定着してきたので、この意欲をきっかけに、正しい文を書くことにも意欲をつなげたい。 ・読字力検定試験で中2相当の問題に挑戦させた結果、8割以上の成績を取めることができた。 ・手話ニュースに興味を持つことができたが、時事に関する基礎知識を身につけることと平行して行う必要を感じた。 ・職場見学では、分からないことに対してその場で積極的に質問できた。発音にも気を付けることができた。この主体的な態度を2学期のインターンシップにつなげたい。	1学期		
			3	3	3		素点!	平均!	
自			2	2	2		1学期		
			1	1	1		素点!	平均!	
立							評定		
活							評定		
動							評定		

「個別の指導計画」記入例15

- ◆総合支援学校に在籍する、知的障害のある中学部2年生の記入例です。
- ◆様式2は、教科等を合わせた指導（日常生活の指導・生活単元学習・作業学習）の単元の学習を構成する各教科・領域の内容を記入し、相互の関連が分かりやすいようにしています。
※総合的な学習の時間については、2学期に集中して実施しています。

学年・組	中学部2年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①一日の学校生活に見通しをもち、次の活動に取りかかることができる。 ②様々な手段や方法で、相手に要求や意思表示をすることができる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①写真カードや文字カードを手がかりに、次の授業場所への移動や学習の準備をすることができる。 ②ことばや指さし、クレーン現象やサインなどで、自分から要求や意思表示を伝えようとするすることができる。
---------------------------	--	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
日常生活指導	・更衣はほぼ自分ですることができる。 ・連絡帳を決められた場所に自分で提出することができる。 ・給食の配膳は、牛乳瓶を8本ケースに入れてしっかり持ち、教室まで運ぶことができる。 ・掃除は、膝を伸ばして廊下の雑巾がけを1～2往復することができる。	・教員が声かけをしなくても、自分から着替えを持って更衣室へ行き、着替えて教室へ戻ることができる。 ・日課表を見ながら、学級の日課カードを翌日の日課に取り替えることができる。 ・給食の配膳で、牛乳瓶をお盆の上に1本ずつ落とさないように配ることができる。 ・自分から廊下の雑巾がけを3往復続けることができる。
	・集団での活動は、雰囲気慣れるまでに時間がかかる。 ・活動に見通しをもつことができるようになると、友達と一緒に活動に取り組むことが少しずつできるようになってくる。	・いろいろな場面での集団の雰囲気に少しずつ慣れて、友達との活動を楽しむことができる。 ・経験を重ねて見通しがもてるようになった活動については、自分から取りかかることができる。また、続けて取り組むことができる。
国語	・ひらがなやカタカナは、ほぼ正しく読み書きすることができる。 ・簡単な漢字を読むことができる。	・自分が経験したことや気持ちを、二語文で表現することができる。 ・知っている漢字を使って文章を書くことができる。
	・山口県の地図を見て、自分が住んでいる市の位置が分かる。 ・郵便局で切手やはがきを買うことができる。 ・10までの数は、具体物とのマッチングで正しく数えることができる。 ・十円玉と百円玉が分かる。	・地図を見て、自分が行きたい場所に近いバス停や駅を探し、時刻を調べることができる。 ・公共機関の役割りや利用の仕方について知る。 ・具体物とのマッチングで、30までの数を正しく数えることができる。 ・硬貨を組み合わせて、何百何十円を作ることができる。
領域	・ジョウロで水やりをすることができる。 ・野菜を傷つけないように気をつけながら、手やはさみで収穫することができる。	・ポットから野菜の苗を上手に取り出して、畑に植えることができる。 ・テレビやラジオで地元の天気予報を知ることができる。
	・童謡が大好きで、曲に合わせて身体表現をすることができる。 ・太鼓のリズムよく叩くことができる。	・いろいろな音楽を聴き、歌ったり体を動かしたりしながら楽しむことができる。 ・曲のリズムを意識しながら、太鼓を叩くことができる。
美術	・自分で絵筆を持って、上下の向きに大きく動かすことができる。明るい色を好む。	・自分で色を選んで、画面いっぱいに描くことができる。 ・ちぎったり切ったり、貼ったりする活動に慣れ、いろいろな作品を作ることができる。
	・はさみは教員が手を添えて使う。	・体を動かすことを楽しみながら体力をつける。
等	・ボールのパスやドリブルができる。 ・マットの前転をしたり、平均台の上を歩いたりすることができる。	・ボールを使った簡単なゲームを楽しむことができる。 ・簡単なサーキットのコースに自分で取り組むことができる。
	・言葉を聞いて理解することができるが、声を出すことは少ない。 ・手指に若干の緊張があり、巧緻性を要する動作や両手の協応動作が不十分である。	・身振りやサイン、言葉で自分の思いを伝えることができる。 ・手指の巧緻性を高め、操作する活動に意欲的に取り組むことができる。
総合的な学習	・給料をもらうためには働かなければいけないことを知っている。	・売れる製品を作ろうと意識することができる。 ・材料費や売上を計算することができる。 ・参観日に雑巾をたくさん売ろうと、ポスターやチラシを工夫して作ることができる。 (雑巾作りと販売活動を中心に指導を行う)

学年・組		中学部2年〇組			氏名		〇 〇 〇 〇					
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教 科 領 域 等	日常生活の指導	・登校、連絡帳の提出、荷物の整理 ・更衣 乾いた洗濯物をたたむ、収納する ・朝の会（健康観察、日課の確認、行事の確認、） ・給食（準備、運搬、配膳、食事、片付け） 歯磨き ・掃除（机を運ぶ、掃く、拭く） ・終わりの会（連絡帳の記入、翌日の日課の確認、持参物の確認） 洗濯をする、干す ・下校										
	生活単元学習	新しい学年や学年学習に向けて	集団宿泊学習	集団宿泊学習	心と体の学習	実習へ向けて進路学習	実習の実習の反省	校外学習へ向けて	校外学習学年レクリエーション	3年生を送る会へ向けて	3年生を送る会	次学年へ向けて進路学習
	国語	先生や友達の名前でよく使う漢字	生活の中でよく使う漢字	丁寧なことばづかい	暑中見舞い状	経験したことを文章に書く	手紙文	新聞を読む	年賀状	書き初めカルタ	図書室やパソコンの利用	文集を作る
	社会	学校の近くの地図	学校がある市の地図	山口県の地図	郵便局の利用	校外学習へ向けて時刻調べ	校外学習へ向けて料金調べ	公共機関の役割について	修学旅行先について調べる			
	数学	お金について	値段を調べる	買い物学習	会計簿をつける	時計を読む時刻表を読む	活動の計画を立てる	校外学習時計を見ながら活動する	郵便局で年賀状を買う	重さを量る	長さを測る	記念品の材料費を計算して買う
	理科	学級農園作り	野菜の苗を植える	観察	夏野菜の収穫	天気予報について	花の苗を植える	さつまいもの収穫	焼き芋	パソコンの利用	学級農園の整備	
	音楽	いろいろな音楽を聴く	好きな楽器の演奏	みんなで合奏	グループで発表会	運動会の音楽を聴く	学習発表会へ向けて	ハンドベルの演奏会	ハンドベルの発表会	自分が好きな歌や楽器の練習	みんなの前で発表会	
	美術	色鉛筆やクレヨンで描く	絵の具で描く	テーマを決めて作品を作る	七夕飾りを作る	粘土で作る	段ボールで作る	落ち葉で作る	クリスマスの飾りを作る	切ったり貼ったりして作品を作る	みんなで共同作品を作る	
	保健体育	走るサーキット	ボール運動	水泳	運動会へ向けて	サッカー	持久走	マット跳び箱	簡単なゲーム風船バレー			
	自立活動	①日常的なあいさつや要求 ②日常生活での簡単なやりとり ③文や絵カードとサインや言葉のマッチング ④手指の細かい作業										
総合的な学習	①②③は、主に日常生活の指導、生活単元学習、国語の時間において指導する。 ④は、主に日常生活の指導、生活単元学習、音楽、美術の時間において指導する。 この他、学習活動全体においても適宜指導する。											
						計画を立てる	雑巾を作る	販売の準備をする	参観日に販売する			
						材料を買う		会計報告				
	※雑巾作りと販売活動を中心に指導を行う。											

学年・組		中学部2年〇組		氏名		〇〇〇〇	
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導記録				
			指導の			指導の経過と評価	評価
			目標	内容	方法		
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> 自分で連絡帳を所定の場所に提出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 所定の位置がわかりやすいように、本人の名前と写真シールを貼る。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 写真を手がかりにして位置を覚え、自分で提出することができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 名前シールのみを手がかりとする。 連絡帳以外の学用品や衣服を所定の場所に置くようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 掃除で、机を運ぶ、廊下のモップがけ、ごみ捨ての活動の流れを一人で取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除のはじめに活動の流れをことばと黒板に貼った写真カードで伝え、視覚的に順番を確認できるようにする。 	4	4	4		
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 学級開きの会や集団宿泊学習の流れを理解し、自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程を示した流れ図を示し、次の活動に必要なものを考えさせる。 絵カードを示し、活動の流れを理解させるとともに、友達の手伝いを促す。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 日程表を見て、自分から更衣をすることができた。 給食との環境の違いから、飲み物の配膳が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 工程表を作成し、実習にスムーズに取り組めるようにする。 給食の配膳等パターン化した活動に変化を与え般化を図る。
国語	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことを、二語文で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や教員との話などを手がかりにして、経験したことと言葉を結びつけながら書いていく。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な写真を手がかりに、自分で思い出しながら書くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しく書いたり自分の気持ちを書いたりすることができるように支援する。
	<ul style="list-style-type: none"> 地図で自分の学校の位置が分かる。 学校や家の近くのバス停や駅が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコンなどを活用して、視覚的にわかりやすい地図を準備する。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> パソコンを活用することで、興味をもって意欲的に活動できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べる方法の選択肢を増やしていくことが大切。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ポットから野菜の苗を上手に取り出して畑に植える。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に大まかな活動の流れを写真、文字カードで伝える。 ひとつひとつの活動については、実際に目の前でやって見せることで伝える。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 導入部分で視覚的な提示をすることで、活動への取りかかりがスムーズにできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことを覚えており自分の力にすることができている。いろいろな経験の積み重ねが大切。
	<ul style="list-style-type: none"> 教師の拍子打ちやリズム打ちを太鼓で模倣したり、友達とリズム合奏をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は簡単なリズム打ちをゆっくり行う。 簡単なリズム絵譜や文字譜を使う。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 教師の手拍子に合わせて太鼓を叩くことができた。 合奏に意欲的だったが、自分のペースで叩き続けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達のリズムをしっかりと聴いてから、自分のリズムを合わせる活動を設定する。 自由に演奏する時間を確保する。
美術	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな形や色を使って七夕飾りを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 色鉛筆やクレヨン、絵の具を自由に使わせ、好きな色を選ばせる。 基本的な形に合わせてはさみで切り、のりで貼り付ける。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な形や色を理解し、自分で選ぶことができた。 自分の作品を大切にしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色の組み合わせによる感じの違いに気付かせたい。 友達作品と見せ合う時間を設定する。
	<ul style="list-style-type: none"> ジグザグ、S字などのコースに沿ってドリブルができる。 水の中でばた足をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コースの幅を広くし、タイムを計測する。 教師が体幹を支える援助をしたり、手をつないだりして、不安を除くようにする。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> タイムが短縮されるのを励みに取り組んだ。 手すりを持ってのばた足ができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> サーキットを毎時間の最初に実施する。 簡易ルールでバスケットボールをする。 ビート板を使ったばた足に取り組む。
自立	<ul style="list-style-type: none"> 身振りやサインで思いを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> サインを正確に出しているか確認しながら進める。 言葉で表現しようとした場合には、言葉の表出を促し、待つようにする。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 覚えているサインはすぐに出すが、未習得のものは、教師を模倣するようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 身振りやサインで表現できる言葉を増やす。 サインを生活の中で活用する。
	<ul style="list-style-type: none"> 結ぶ、めくる等の手指の巧緻性を伴う動作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手指のマッサージを行い、緊張を緩める。 紐結び、ボタンかけ等の練習を行う。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 手指を使う意欲はあるが、細かい作業をスムーズに行うのは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活用品を使用して、手指を使う動作を練習する。
総合的な学習	※2学期より記入		4	4	4		
			3	3	3		
			2	2	2		
			1	1	1		

「個別の指導計画」記入例16

- ◆総合支援学校に在籍する、重複障害のある小学部1年生の記入例です。
- ◆自立活動を主として指導を行う教育課程を編成しています。

学年・組	小学部1年〇組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名	〇〇 〇〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	平成〇〇年4月～平成〇〇年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	①健康面、情緒面で安定した生活を送る。 ②手・足・声で人や物に主体的にかかわる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	①筋緊張のコントロールを図り、側わんの進行を予防するとともに、スムーズな排痰を行うことができる。 ②背中に力を入れて、座位を保持するとともに、手指の操作性を向上することができる。
---------------------------	---	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教 科 指 導 ・ 領 域 自 立 等 活 動	<p><朝の会></p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅から自家用車で登校する。 あいさつに対し、表情の変化や発声で応える。 歌を聴き手を動かしたり、声を出したりする。 <p><排泄></p> <ul style="list-style-type: none"> 2時間の定時排泄。1回の排尿量は少ない。 股関節が開きにくく、全身が反り返りやすいので後方から介助されて便器に座る。 全身に力を入れたり、口をすぼめたり、「アー」「ーン」と言ったりして尿意を表す。 <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> スプーンに対し頭を起こしてすることがある。 欲しい物に対しては、上体を伸び上がらせる。 咀嚼はできるが、十分ではない。 水分はむせやすく、口からこぼれやすい。 机の上の物を右手で払ったり、右手指ではさむようにしたりして下に落とす。 <p><健康></p> <ul style="list-style-type: none"> 背骨に変形が見られる。(左凸) 便秘になりやすい。 夜、何度か目を覚ますことがある。 <p><コミュニケーション></p> <ul style="list-style-type: none"> 声かけに「ハイ」「アイ」等と応えることがある。 快の状態では、笑顔や発声(「キャー」)、手足を盛んに動かすことなどで感情を表現する。 パターン化された活動では、次に起こることを期待(予測)する。 ニコリでYes、口をすぼめることでNoを示すが、目や手による意思表示は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともにリラックスする。 1日の始まりを意識する。 スキンシップで担当教員とのコミュニケーションを深める。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> リラックスして座り、排尿する。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> トイレの場面を利用して、意思表示を促す。(Yes-Noのサイン) <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 上体を起こして食べる。 しっかりかむ。 上唇で食べ物を取り込み、こぼさずに飲む。 右手を使って食べる。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 変形を予防する。 活動量を増やすことにより、十分な睡眠及び便秘の解消を図る。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求を伝える発声、身振り、手の動き等がより活発になるようにする。 気になる人や物を見つめることにより、意思を周囲の人間に伝えようとする事ができる。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> Yes-Noのサインがより明確になるようにする。
	<p><課題学習></p> <ul style="list-style-type: none"> 手指の動きは硬く、伸ばした親指と中指ではさむようにして物を持つ。握る力は不十分。 右手を操作に使うが、手前に引く動きが多く、押し出す動きは少ない。 「〇〇する?」「〇〇見える?」という言葉かけに対して、視線を向けることがある。 <p><運動-動作></p> <ul style="list-style-type: none"> 仰臥位から側臥位は可能(左腕が抜けにくい)。 肘関節、足首や股関節の屈曲に抵抗がある。 全身を大きく反らせるため座位が難しい。 <p><感覚-運動></p> <ul style="list-style-type: none"> 仰臥位からの引き起こしでは、頭を起こし、数秒間保持できる。 揺れ刺激に対して、両脚をばたつかせたり、指をくわえたり、声を出して喜んだりする。 後方から介助されての立位では、足裏全体が床に着きにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 手を伸ばす、握る、放すなどの手指の操作性の向上を図る。 教材に取組む過程で、姿勢の保持や変換を促す。 文字を記号として操作するための基礎(形の弁別)を理解する。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 頭部コントロールの向上を図る。 あぐら座位で背中に力を入れて上体を保持する。 緊張を抑制しながら体の各部位を動かす。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 揺れや振動(垂直・回転・加速度)の体験を通して、股、膝、足、肩、肘等の各関節の弛緩、定頸や頭部コントロール、寝返りを促すとともに、身体意識を高める。 喜びや満足感を共有し、対人関係を深める。 遊具による活動を通じて運動量を確保する。
	<p>遊びの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな(絵)本があり、よく見たり聞いたりする。ページをめくるのをよく見ている。 パターン化された活動では、次に起こることを予測し、期待したり、緊張したりする。 援助されながら、興味のある物に手を伸ばそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムに合わせて身体を動かしたり、音楽を楽しんだりする力を育てる。 見る力、聞く力、「もっとやりたい」という意欲や要求を育てる。 外界に働きかける手、目の前のものを触ろうとする手を育てる。
	<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな本を見たり、音楽を聞いたりすることに集中することができる。 家族の声に笑顔で応えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がやらなければならない課題に、しっかりと取り組むことができる。 家族や担任、友達に顔を向けたり、発声や手の動きで働きかけることができる。
	<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の動き(活動)を意識していることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きなものを増やし、友達とかかわる力を育てる。

学年・組		小学部1年○組			氏名		○ ○ ○ ○				
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科領域等	常	<朝の会> ○登校後のリラクゼーション ○ふれあいタイム ○健康観察 ○朝の歌とあいさつ (名前と返事) ○天気調べ ○献立の発表 ○先生の話 (今日の予定、先生、友達) ○朝の体操 ○おわりのあいさつ									
	生	<排泄> ○排尿時の観察 (サインの読み取り) → (写真や絵カードによる意思表示) ○排尿時の座位 (後方からの援助) → (側面からの援助) ○排尿間隔の拡大 (2時間の定時排尿) → (3時間の定時排尿)									
	活	<食事> ○上体を起こして食べる。 → ○右手を使って食べる。 ○口唇を使って食べ物をとりこむ。 → ○しっかりかむ ○こぼさずに飲む ○食べたい物を選択する。 →									
	指	<健康> ○変形の予防を図る。 ○活動量を増やす。 ○体調を整えさせる。(水分補給、薄着、便秘の解消)									
	導	<コミュニケーション> ○意思表示 (発声、表情) → (手を動かす、写真や絵カードを見る) ○指示理解 (写真と活動の結びつけ) →									
	科	※排泄、食事、健康、コミュニケーションに関する内容は、特に自立活動との関連を図りながら、学校生活全体で指導する。									
	・	<課題学習> ○操作的空間形成学習：仰臥位・側臥位・伏臥位・介助 (あぐら、ベンチ) 座位で行う。 → ①手指のコントロール：手指、手首、肘への働きかけ ②足のコントロール：足指、足首、かかと、足裏、膝への働きかけ ③姿勢の調整：頭部、手、足、腰、背中等 ○概念形成学習：写真や絵カードによる弁別及び分類 (見ることによる選択を中心に) → ①基本図形のはめ板 (滑らせてはめる) ②宝箱 (宝探し)									
	立	<運動-動作> ○身体各部位のリラクゼーション → ・足、膝、股、手、手指、肘、肩、頸の緩め ・脚、足首の曲げ伸ばし ・腕の前方挙上と曲げ伸ばし ・体幹の反らしとひねり ○頭部コントロールの向上 → ・仰臥位から両腕を引かれての頭の引き起こし ・肘立て位、介助座位からのヘッドアップ ・ヘッドアップした頭のコントロール ・介助されながらの寝返り									
	等	<感覚-運動> ○ロールマット (伏臥位) → (またがり) → (ローリング) ○トランポリン (仰臥位や伏臥位、肘立て位) → (介助座位、寝返り) → (立位) ○毛布ハンモック (前後左右上下のゆれ) → ○毛布や傾斜台 (寝返り) → ○スクーターボード・バランスボード (仰臥位や伏臥位) → (介助座位)									
	遊	○「ゴロゴロドンドンかみなりどん」劇遊び ○「しずくのぼうけん」ダンス ○「宇宙船にのって」ブラクシアター ○「ノンタンボールまてまて」影絵遊び									
	道	○主として自分自身に関すること ・提示された課題にしっかりと取り組む。 ○主として他の人とのかかわりに関すること ・家族、担任、学級内の友達に、手や足の動き、発声等で積極的に働きかける。 ○主として自然とのかかわりに関すること ・身近な自然に親しむ。									
	特	①ゲーム ボーリングゲーム、カードゲーム等 ②調理活動 (触覚的な働きかけ) ホットケーキ、かき氷、クッキー等 ③感触遊び・音遊び・造形等									
動	※学級活動において、①～③を月1回程度実施し、残りの時間は季節や学校行事等と関連した内容を設定する。										

